

問1 世界の農産物生産において、ブラジルが世界最大の生産量を誇り、次いでインド、中国の順に多く生産されている作物があります。この作物が、近年エネルギー分野で注目されている理由として正しい説明を選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 光ファイバーの被覆材として、情報通信技術の発展に不可欠なため | 2. 砂漠化が進む地域において、乾燥に強い食糧資源として期待されるため | 3. 発酵・蒸留させることで、自動車などのバイオ燃料の原料になるため | 4. 家畜の飼料としての需要が急増し、肉類の生産コストを抑えるため |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|

問2 南アメリカ大陸の形状について述べた説明において、大陸が最も細くなっている最南端の先端部分を水平に横切るように位置している緯線はどれか。北アメリカ大陸のアメリカ合衆国とカナダの国境線の一つである北緯49度に近い数値であることを参考に答えなさい。 (2022年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 南緯20度 | 2. 南緯30度 | 3. 南緯50度 | 4. 南緯40度 |
|----------|----------|----------|----------|

問3 16世紀から19世紀にかけて、南アメリカの植民地における農園や鉱山での労働力として、アフリカ州から多くの人々が強制的に連れてこられた歴史的背景に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 南アメリカ大陸の人口を急激に増やすことで、ヨーロッパ本国からの独立を早める狙いがあった。 | 2. アフリカの気候が南アメリカの山岳地帯と酷似しており、高地での労働に適していたため。 | 3. アフリカの諸王国から最新の農業技術を導入するため、専門的な技術者を組織的に招いた。 | 4. 現地の先住民が感染症や過酷な労働によって激減したため、不足した労働力を補う必要があった。 |
|---|--|--|---|

問4 日本の農業に関する統計において、沖縄県が全国の生産量の約6割を占め、次いで鹿児島県が約4割を占めるという、南西諸島での栽培が盛んな作物は何か選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|----------|--------|---------|
| 1. 茶 | 2. さとうきび | 3. いぐさ | 4. てんさい |
|------|----------|--------|---------|

問5 地球温暖化の対策として導入が進んでいるバイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出するにもかかわらず、大気中の二酸化炭素を実質的に増加させないとされています。その理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 化石燃料と比較して、燃焼時に発生する熱エネルギーが非常に効率よく蓄積されるため。 | 2. 加工の段階で特殊な薬品を混ぜることで、二酸化炭素を酸素に分解する性質を持たせているため。 | 3. 原料となる植物が、成長過程の光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収しているため。 | 4. 燃焼時に発生する成分が、酸性雨の原因となる硫酸化物や窒素酸化物を中和するため。 |
|---|---|---|--|

問6 ブラジルなどの農業地域では、サトウキビが砂糖の原料としてだけでなく、環境に配慮したエネルギー源としても活用されています。このようにサトウキビを燃料として利用することが、地球温暖化対策に繋がると考えられている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 地下資源を掘り起こす必要がないため、採掘の際に行われる森林破壊や地盤沈下を防ぐことができるから。 | 2. 石油や天然ガスなどの化石燃料と比較して、燃焼時に二酸化炭素を一切排出しないという性質を持っているから。 | 3. サトウキビから燃料を抽出する際に、温室効果ガスを吸収する特殊な副産物が生成される仕組みがあるから。 | 4. 原料となる植物が成長する過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさないとされるから。 |
|---|--|--|--|

問7 日本では、国内産の供給が不足する時期に、季節が反対になる南半球の国々から多くの農産物を輸入しています。カボチャなどの輸入において、このような地理的特性を活かして日本への輸出を行っている代表的な国はどこですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|------------|-------------|------------|
| 1. タイ | 2. アメリカ合衆国 | 3. ニュージーランド | 4. 中華人民共和国 |
|-------|------------|-------------|------------|

問8 1960年代半ば、オーストラリアにとってイギリスや日本は主要な輸出相手国でしたが、2010年代の統計では、中国が輸出額の約3割を占める最大の貿易相手国となり、イギリスの割合は極めて小さくなっています。このような変化が起こった背景として、1970年代にイギリスが行った行動と、その後のオーストラリアの動向について説明した文として最も適切なものはどれか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. イギリスが東南アジア諸国連合（ASEAN）への加盟を求めた際、オーストラリアが反対したため両国の貿易関係が悪化し、結果として中国との二国間貿易が急増した。 | 2. イギリスが資源保護のために鉄鉱石の輸入を全面的に禁止したため、オーストラリアは新たな輸出先としてアメリカ合衆国や中国などの環太平洋諸国を選択した。 | 3. イギリスが欧州共同体（EC）に加盟したことで、それまで結びつきの強かったオーストラリアとの経済的なつながりが弱まり、オーストラリアは地理的に近いアジア市場への輸出を拡大させた。 | 4. イギリスが北米自由貿易協定（NAFTA）を主導したことで、オーストラリア産の農産物に高関税がかけられるようになり、オーストラリアはアジア諸国との貿易に活路を見出した。 |
|--|--|---|--|

問9 ブラジルでは広大な国土を活かした農業が盛んですが、近年の環境問題やエネルギー政策とも深く関わる特徴が見られます。サトウキビの生産に関連して、ブラジルで行われている取り組みとして正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. サトウキビ畑をすべて大豆の栽培に切り替えることで、世界的な食料不足に対応する食料安全保障政策を推進している。 | 2. サトウキビを原料としたプラスチックの製造を禁止し、伝統的な木材加工業を輸出の中心に据える政策に転換した。 | 3. サトウキビの絞りかすを家畜の飼料として輸出することに特化し、大豆に代わる世界最大のタンパク質供給源となっている。 | 4. サトウキビを原料としてバイオエタノールを製造し、自動車の燃料として普及させることで、二酸化炭素の排出抑制を図っている。 |
|---|---|---|--|

問10 ニュージーランドにおける移民の歴史や社会政策について説明した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 北極圏から移動してきたイヌイットの生活様式を国の基盤としており、トナカイの遊牧を中心とした社会を維持している。 | 2. 白人以外の移民を制限する白豪主義と呼ばれる政策を長年維持しており、先住民の文化を公に認めることは禁じられている。 | 3. イギリスの植民地であった歴史背景を持つが、現在は先住民であるマオリの言語を公用語の一つに定め、多文化社会の形成を進めている。 | 4. オーストラリアの先住民であるアボリジニの文化を全面的に取り入れ、アジアからの移民を厳しく制限する政策をとっている。 |
|--|---|---|--|

問11 オーストラリアやチリなどの南半球の国々から、オレンジやぶどうなどの農産物を輸入する際、日本の農業において農作物の出荷が途切れる時期を補う仕組みが重要視されます。このように、農作物の収穫・出荷が行われない時期のことを何と呼びますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 1. 停滞期（ていたいき） | 2. 閑散期（かんさんき） | 3. 休耕期（きゅうこうき） | 4. 端端期（はざがいき） |
|---------------|---------------|----------------|---------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 発酵・蒸留させることで、自動車などのバイオ燃料の原料になるため	ブラジルなどでは、この作物を原料としたバイオエタノールの生産が非常に盛んです。化石燃料の消費を抑え、燃焼しても大気中の二酸化炭素総量に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考えに基づき、地球温暖化対策の有効な手段として利用が広がっています。
問2	答え 3 南緯50度	南アメリカ大陸は南に向かうにつれて大陸の幅が狭まり、その最南端付近には南緯50度の緯線が通っています。この緯度は、北半球でアメリカとカナダの国境線となっている北緯49度とほぼ同じ緯度にあたり、南アメリカ大陸が南極に近い非常に高い緯度まで伸びていることを示しています。
問3	答え 4 現地の先住民が感染症や過酷な労働によって激減したため、不足した労働力を補う必要があった。	南アメリカに入植したヨーロッパ諸国は、当初は現地の先住民を労働力として利用しようとしたが、ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症や、不慣れな環境下での過酷な労働によって先住民の人口が激減しました。この深刻な労働力不足を解消するために、奴隷貿易を通じてアフリカ州から多くの人々が連行され、プランテーションや鉱山で働かされることになりました。これは世界的な規模で行われた三角貿易の一部でもあります。
問4	答え 2 さとうきび	熱帯や亜熱帯の暖かい気候を好むため、日本では沖縄県と鹿児島県の南西諸島に生産が集中しています。北海道で生産が盛んな「てんさい」とともに砂糖の主な原料となるほか、近年では再生可能エネルギーであるバイオ燃料の原料としても注目されています。
問5	答え 3 原料となる植物が、成長過程の光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収しているため。	バイオ燃料はサトウキビやトウモロコシなどの植物を原料としています。これらの植物は成長する際に光合成を行い、大気中の二酸化炭素を吸収します。そのため、燃料として燃やした際に放出される二酸化炭素は、もともと植物が吸収した分を大気に戻しているだけであるとみなされ、全体としては二酸化炭素量を増やさないという「カーボンニュートラル」の考えに基づいています。
問6	答え 4 原料となる植物が成長する過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさないとされるから。	バイオエタノールなどのバイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は原料となる植物が成長過程で光合成によって吸収したものです。このため、大気中の二酸化炭素の総量に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考え方に基づき、地球温暖化の抑制に寄与するエネルギーとして注目されています。化石燃料は地中に固定されていた炭素を排出するため、この点が大きな違いとなります。
問7	答え 3 ニュージーランド	選択肢の中で南半球に位置するのはニュージーランドのみです。タイは低緯度の熱帯地域にあり、アメリカ合衆国と中華人民共和国は日本と同じ北半球に位置しています。日本が冬の時期に収穫期を迎える南半球の特性を活かし、ニュージーランドからはカボチャやキウイフルーツなどが多く輸入されています。
問8	答え 3 イギリスが欧州共同体（EC）に加盟したことで、それまで結びつきの強かったオーストラリアとの経済的なつながりが弱まり、オーストラリアは地理的に近いアジア市場への輸出を拡大させた。	1973年にイギリスが欧州共同体（EC）に加盟したことは、当時のオーストラリアにとって大きな転換点となりました。それまでイギリスは旧宗主国として最大の輸出先でしたが、EC加盟によりイギリスがヨーロッパ域内の貿易を優先するようになったため、オーストラリアは新たな輸出市場をアジアに求めるようになりました。高度経済成長期の日本、そして2000年代以降は急速な経済発展を遂げた中国が最大の貿易相手国となり、現在は地理的・経済的にアジアの一員としての側面を強めています。
問9	答え 4 サトウキビを原料としてバイオエタノールを製造し、自動車の燃料として普及させることで、二酸化炭素の排出抑制を図っている。	ブラジルはサトウキビの生産量が世界最大級であり、これを砂糖の原料としてだけでなく、植物由来のバイオ燃料（バイオエタノール）に加工する技術が発達しています。多くの自動車がバイオエタノールとガソリンのどちらでも走行できる「フレックス燃料車」として普及しており、化石燃料の使用削減と地球温暖化対策の一環として国際的にも注目されています。
問10	答え 3 イギリスの植民地であった歴史背景を持つが、現在は先住民であるマオリの言語を公用語の一つに定め、多文化社会の形成を進めている。	ニュージーランドはかつてイギリスの植民地でしたが、1980年代以降、先住民マオリの権利回復や言語の公用語化など、多様な民族の文化を尊重する「多文化主義」の政策を推進しています。これに対して白豪主義は隣国のオーストラリアがかつて行っていた政策であり、イヌイットは北米などの北極圏に住む人々を指します。
問11	答え 4 端境期（はざかいき）	端境期とは、古い作物の在庫がなくなる時期と、新しい作物が収穫される時期の間の、品薄になる期間を指します。日本は南半球の国々と貿易を行うことで、この端境期を解消し、食生活の安定を図っています。これは季節が逆転している南半球の国々との地理的関係を最大限に活用した貿易の形です。

南アメリカ・オセアニア
州プリント

名前

- 問1 南アメリカ大陸に位置するブラジルにおいて、世界最大の生産量を誇り、同国の経済を支える重要な輸出商品となっている農作物はどれですか。
（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. バナナ 2. 小麦 3. コーヒー豆 4. 綿花
- 問2 南半球に位置し、2000年に夏季オリンピックを開催した国について述べたものとして正しいものはどれか。この国は国土の約3分の2が乾燥帯に属しており、草原や砂漠が広がる自然環境を有している。
（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. ブラジル 2. ニュージーランド 3. 南アフリカ共和国 4. オーストラリア
- 問3 オーストラリアでは、かつて白人以外の移民を制限する「白豪主義」がとられていましたが、現在は多様な文化を互いに尊重し合う「多文化主義」へと政策を転換しています。この多文化主義の考え方にに基づき、イギリス人の入植以前からオーストラリア大陸に居住し、現在その独自の文化の保存や権利の尊重が進められている先住民族を何といいますか。
（2026年 愛媛県公立入試 類似）
1. マオリ 2. アボリジニ 3. イヌイット 4. ネイティブ・アメリカン
- 問4 ブラジルでは、さとうきびを原料としたバイオエタノールの普及が進んでいます。このバイオ燃料の活用と、現在のブラジルにおける環境保全への取り組みについて説明したものと、最も適切なものはどれですか。
（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. 二酸化炭素の排出量を増やす要因となるため使用が制限されており、代わりに安価な輸入石炭による発電への切り替えが進んでいる。 2. とうもろこしを主原料とする北米の方式に完全に移行しており、さとうきび畑だった土地はすべて熱帯雨林へと復元されている。 3. 再生可能エネルギーの供給割合を高めるために活用されており、増産にあたっては熱帯雨林を伐採しないような対策がとられている。 4. 石炭による火力発電の不足分を補うために活用されており、原料確保のために熱帯雨林のさらなる開発を推奨している。
- 問5 オセアニアに位置するオーストラリア大陸の中央部には、平原にそびえ立つ「ウルル（エアーズロック）」と呼ばれる赤茶色の巨大な岩山があります。この場所を聖地として敬ってきた、この大陸の先住民の名称として正しいものはどれですか。
（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. マオリ 2. アボリジニ 3. イヌイット 4. アイヌ
- 問6 ブラジルの発電電力量の内訳について、水力が64.1%と大半を占める一方で、生物資源を原料とするエネルギーも8.7%利用されています。また、ブラジルではサトウキビの生産量が砂糖の生産量を大きく上回るペースで増加していますが、その主な背景として適切なものはどれですか。
（2022年 山口県公立入試 類似）
1. サトウキビをそのまま燃焼させて直接電力を得る地熱発電の技術が普及したため 2. サトウキビの絞りかすを加工して、風力発電のプロペラ部分を作る材料にするため 3. 自動車の燃料などに利用されるバイオエタノールの原料としての需要が高まったため 4. 家畜の飼料として輸出するためのサトウキビ栽培が、砂糖用よりも収益性が高くなったため
- 問7 アルゼンチンを流れるラプラタ川の流域に広がる、平坦な地形を活かして大規模な牧畜が行われている広大な草原地帯を何というか。
（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. セルバ 2. カンボ 3. パンパ 4. リャノ
- 問8 南アメリカの文化や歴史的背景について述べた次の文のうち、パラグアイを含む多くの国々に共通する特徴として適切なものはどれですか。
（2022年 大分県公立入試 類似）
1. オランダの植民地支配を通じて、ヒンドゥー教が普及した 2. フランスの植民地支配を通じて、イスラム教が普及した 3. スペインやポルトガルの植民地支配を通じて、カトリックが普及した 4. イギリスの植民地支配を通じて、プロテスタントが普及した
- 問9 オーストラリアとその周辺の島々から成るオセアニア州の人口動態について、その特徴を説明した文として適切なものはどれか。なお、この州の人口は約4000万人であり、土地の面積に対する人口の割合や増加の推移に注目して答えなさい。
（2018年 秋田県公立入試 類似）
1. 人口が急激に減少しており、他の州と比較して人口密度は高いが人口増加率はマイナスである。 2. 広大な国土に対して人口が少ないため人口密度は非常に低いが、人口増加率は比較的高い。 3. 人口密度は世界平均並みであるが、高齢化の影響で人口増加率は著しく低下している。 4. 人口密度が世界で最も高く、それに伴って人口増加率も他の州を圧倒して高い。
- 問10 南アメリカ大陸の西側に位置するペルーでは、沿岸を南から北へ流れる寒流の影響により、世界有数の漁場が形成されています。この漁場で大量に漁獲され、粉末状の「フィッシュミール」に加工されて輸出される魚の種類と、その寒流の影響で低緯度ながらも乾燥帯となっているペルーの首都の組み合わせとして正しいものはどれですか。
（2019年 東京都公立入試 類似）
1. タラー ブエノスアイレス 2. サケー サンティアゴ 3. マグロ ー キト 4. アンチョビ（カタクチイワシ） ー リマ
- 問11 南アメリカのペルー中部における土地利用の様子をまとめた資料において、標高0～1000m付近ではかんきつ類、2000～3000m付近ではとうもろこしが栽培されています。このとき、さらに標高が高い3000～4000m付近で主に栽培されている作物として正しいものはどれですか。
（2016年 大分県公立入試 類似）
1. さとうきび 2. いも類 3. コーヒー 4. カカオ
- 問12 2013年のオーストラリアにおける輸出相手国の統計において、輸出総額に占める割合の第1位が中国（34.6%）、第2位が日本（12.4%）、第3位が韓国（7.0%）となっています。これらの国々が属しており、現在のオーストラリアにとって最も重要な輸出先となっている地域名称として正しいものを次から選びなさい。
（2016年 山口県公立入試 類似）
1. 東アジア 2. 西ヨーロッパ 3. 東南アジア 4. 北アメリカ
- 問13 南アメリカ大陸の北部、赤道付近を流れる河川のうち、支流を含めた水の集まる範囲である流域面積が世界最大である河川として正しいものはどれですか。
（2016年 長崎県公立入試 類似）
1. アマゾン川 2. ナイル川 3. ライン川 4. ミシシッピ川

答え合わせ・解説

問1	答え 3 コーヒー豆	ブラジルは広大な国土と熱帯・亜熱帯の気候を活かした農業が盛んで、特にコーヒー豆は19世紀以来、世界最大の生産量を維持しています。かつては輸出額の大部分をコーヒー豆に依存するモノカルチャー経済の傾向が強くありましたが、現在は工業化や他の農産物の生産拡大により経済の多角化が進んでいます。
問2	答え 4 オーストラリア	2000年にシドニーでオリンピックを開催したオーストラリアは、世界で最も平坦で乾燥した大陸の一つです。国土の約3分の2が乾燥帯であり、中央部には広大な砂漠が広がっています。この地理的条件は、人々の居住地域や農業の分布に大きな影響を与えています。
問3	答え 2 アボリジニ	オーストラリアは1970年代以降、それまでの白人優先の政策（白豪主義）を改め、異なる文化背景を持つ人々が共生する多文化主義を採用しました。この背景には、イギリス人の入植によって迫害を受けてきた先住民族であるアボリジニの権利を認め、彼らが持つ数万年からの伝統文化や言語を、国家の重要な資産として保護・尊重しようとする社会的な動きがあります。
問4	答え 3 再生可能エネルギーの供給割合を高めるために活用されており、増産にあたっては熱帯雨林を伐採しないような対策がとられている。	ブラジルは世界有数のさとうきび生産国であり、これを原料としたバイオエタノールを自動車燃料などに活用することで、化石燃料への依存を減らしています。また、地球温暖化対策や生物多様性の保護という国際的な要請に応えるため、貴重な資源である熱帯雨林を破壊せずに、既存の耕作地の有効活用などによって増産を目指す持続可能な開発が進められています。
問5	答え 2 アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民はアボリジニであり、彼らにとってウルルは非常に重要な信仰の対象である聖地です。選択肢にあるマオリはニュージーランドの先住民、イヌイットは北極圏などの先住民、アイヌは日本列島北部周辺の先住民を指します。
問6	答え 3 自動車の燃料などに利用されるバイオエタノールの原料としての需要が高まったため	ブラジルでは豊かな水資源を利用した水力発電が主流ですが、同時にサトウキビなどの生物資源を原料とするエネルギー活用も盛んです。サトウキビは食用の砂糖の原料になるだけでなく、発酵させてバイオエタノールという燃料に加工されます。これが自動車の燃料や発電に利用されるようになったため、サトウキビの生産量は砂糖の生産を上回るペースで増加しています。このように生物資源を源とするエネルギーは再生可能エネルギーの一つとして重要視されています。
問7	答え 3 パンパ	ラプラタ川流域に広がる温帯の草原は「パンパ」と呼ばれます。ブラジル北部のAmazon川流域に広がる熱帯雨林である「セルバ」や、オリノコ川流域の「リャノ」と区別して覚える必要があります。19世紀から大規模な牧畜が発展したことで知られています。
問8	答え 3 スペインやポルトガルの植民地支配を通じて、カトリックが普及した	15世紀末の大航海時代以降、南アメリカ大陸はスペインとポルトガルによって分割され、植民地化されました。ブラジルはポルトガル、パラグアイやアルゼンチンなどは主にスペインの支配下に入り、本国の宗教であるカトリックが強制または奨励されたことで、地域全体の文化基盤となりました。イギリスやオランダの影響が強かったのは主に北アメリカやアジアの一部、カリブ海沿岸などに限られます。
問9	答え 2 広大な国土に対して人口が少ないため人口密度は非常に低い、人口増加率は比較的高い。	オセアニア州の人口は約4000万人であり、広大な面積を持つオーストラリアが含まれるため、人口密度は1平方キロメートルあたり約4.7人と非常に低くなります。しかし、人口増加率については約1.45%という数値を示しており、これは北アメリカやヨーロッパなどの他の州と比較しても高い水準にあります。このように「低密度かつ高成長」という独自の人口構造を持っています。
問10	答え 4 アンチョビ（カタクチイワシ） — リマ	南から北へ流れるペルー海流（寒流）は、深層から栄養分を巻き上げるためプランクトンが豊富で、アンチョビ（カタクチイワシ）の好漁場となります。また、寒流の上にある空気は冷たく重い、上昇気流が発生しにくく雨がほとんど降りません。そのため、低緯度に位置しながらも首都のリマ周辺は乾燥帯（砂漠気候）となっています。
問11	答え 2 いも類	アンデス山脈の標高3000mを超える高地は、気温が低く冷涼な気候であるため、低温に強いいも類（ジャガイモなど）が主な栽培作物となります。選択肢にあるカカオやさとうきびは、より気温が高い低地での栽培に適した作物です。このように高度に応じて栽培する作物を変えることで、厳しい環境下でも食料を確保しています。
問12	答え 1 東アジア	オーストラリアはかつて宗主国であるイギリスとの貿易が中心でしたが、近年では地理的に近いアジア諸国との結びつきを強めています。2013年の統計では、中国、日本、韓国といった東アジアの国々が輸出先のトップ3を占めており、これらの地域がオーストラリアの資源輸出において極めて重要な市場となっていることがわかります。
問13	答え 1 アマゾン川	南アメリカ大陸を流れるこの河川は、長さではアフリカ大陸のナイル川に次ぐ世界第2位とされることが多いですが、流域面積（川に水が流れ込む範囲の面積）においては世界で最も大きな規模を持っています。熱帯の多雨地域を流れるため、膨大な水量を誇るのが特徴です。

問1 南アメリカのラプラタ川流域に広がる平原「パンパ」について、この地域の産業や人々の生活の特色を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 熱帯雨林を切り拓いた農地で、輸出用のコーヒーやサトウキビの栽培が集中している。 | 2. 標高が高い寒冷な気候を利用して、アルパカの放牧やジャガイモの栽培が行われている。 | 3. 降水量が少ない砂漠地帯であり、外来河川の水を利用した小麦の栽培が行われている。 | 4. 広大な草原を活かした大規模な牧畜が盛んであり、食文化においても牛肉がよく食べられている。 |
|--|---|--|---|

問2 標高約4,000mに位置するボリビアのラパスと、同じ低緯度で標高がわずか3mの沿岸都市の気温を比較したとき、ラパスの月別平均気温の推移にはどのような特徴が見られますか。その場所の地理的条件を踏まえて答えなさい。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 低緯度で太陽の光を強く受けるため気温が年間を通して高く、降水量の変化のみが激しい | 2. 標高の影響で気温が年間を通して低く、低緯度であるため月ごとの気温差も小さい | 3. 周辺を山に囲まれているため熱がこもりやすく、低地の都市よりも年間を通して気温が高い | 4. 標高の影響で気温が年間を通して低く、季節風の影響で夏と冬の気温差が非常に大きい |
|---|--|--|--|

問3 1990年から2020年にかけての、ブラジルにおける大豆の生産と貿易の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 国内消費の増加を優先させるため、生産量は増えているが輸出量は停滞している。 | 2. 1990年以降は生産量が頭打ちとなり、輸入に頼る割合が高まっている。 | 3. 環境保護のために生産を抑制した結果、輸出量は減少傾向にある。 | 4. 世界的な需要の高まりに応じ、増産と輸出拡大が連動して大幅に進んでいる。 |
|--|---------------------------------------|-----------------------------------|--|

問4 世界地図において緯線と経線が直角に交わる投影法を用いたとき、南太平洋の広い範囲に点在しているサモアやトンガなどの国々は、地理区分上のどの州に分類されますか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. ヨーロッパ州 | 2. 南アメリカ州 | 3. オセアニア州 | 4. アフリカ州 |
|-----------|-----------|-----------|----------|

問5 オーストラリアなどの大規模な鉱山で見られる、地表から直接、鉱石をすり鉢状に削り取っていく採掘方法を何といいますか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. 坑内掘り | 2. 輪作 | 3. 棚田 | 4. 露天掘り |
|---------|-------|-------|---------|

問6 オーストラリアが、かつての白人中心の移民政策を改めて「多文化社会」の形成へと大きく舵を切った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 特定の宗教を国教として定めることで、多民族が単一の価値観のもとに団結する体制を構築するため。 | 2. アボリジニーを特定の居留地に隔離し、ヨーロッパ系の伝統文化のみを保存して観光資源化するため。 | 3. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを強め、多様な人材を受け入れることで国家の発展を図るため。 | 4. 労働力不足を解消するために、南アメリカからの日系移民のみを優先的に受け入れる制度を確立するため。 |
|---|---|---|---|

問7 一人当たりの国民総所得が60,820ドルと非常に高く、主要な輸出品目の上位3位が鉄鉱石、石炭、液化天然ガス（LNG）で占められている、オセアニアに位置する国はどこですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|----------|-------------|---------|
| 1. オーストラリア | 2. フィリピン | 3. ニュージーランド | 4. フランス |
|------------|----------|-------------|---------|

問8 南アメリカ大陸の地形と農業について述べた次の文のうち、アルゼンチンに広がる平原「パンパ」の特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 乾燥した気候の草原地帯で、かつては大規模な綿花栽培が行われていた北アメリカ中央部の地域である。 | 2. 熱帯雨林が広がる広大な低地で、世界最大の流域面積を持つ河川が流れている。 | 3. 標高の高い高原地帯で、古くからジャガイモの原産地として知られ、アンデス山脈に隣接している。 | 4. 温帯に属する広大な草原で、肥沃な土壌を活かして小麦栽培や肉牛の飼育が行われている。 |
|--|---|--|--|

問9 オーストラリアにおいて、日本の冬にあたる時期に夏を迎えるなど、北半球の国々と季節が完全に入れ替わる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 国土の大部分が回帰線付近の乾燥帯に属し、一年中気温が高いため | 2. 赤道よりも南の南半球に位置しており、太陽の光を受ける時期が北半球とずれるため | 3. 日付変更線のすぐ西側に位置しており、世界で最も早く一日が始まるため | 4. 日本との時差がほとんどなく、経度がほぼ同じ位置にあるため |
|-----------------------------------|---|--------------------------------------|---------------------------------|

問10 オーストラリアの土地利用に関する統計において、農地面積は約4億827万ヘクタールに及びますが、そのうちの約88%にあたる3億5896万ヘクタールという広大な面積を占めている土地利用の区分として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|----------|
| 1. 耕地・樹園地 | 2. 宅地・工業用地 | 3. 牧場・牧草地 | 4. 森林・林地 |
|-----------|------------|-----------|----------|

問11 オーストラリアはかつて「白豪主義」と呼ばれる白人中心の政策をとっていましたが、現在は多様な文化を尊重する社会へと転換しています。これに関連して、オーストラリアにおいて土地を奪われるなどの苦難の歴史を歩み、現在はその権利の尊重や伝統文化の保護が進められている先住民族の名称を選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|--------|--------|
| 1. アボリジニ | 2. イヌイット | 3. インカ | 4. マオリ |
|----------|----------|--------|--------|

問12 近年のブラジルの貿易と産業の様子について説明した文として、統計的事実に基づいた適切なものはどれですか。なお、2015年の輸出総額は約1911億ドルであり、輸入額を上回っています。 (2019年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 輸出品目がコーヒーから鉄鉱石や機械類、大豆などへ多角化し、貿易黒字となっている。 | 2. 依然としてコーヒーが輸出の3割以上を占めているため、国際価格の下落による貿易赤字が続いている。 | 3. 工業化が停滞したことで輸入額が輸出額を上回り、慢性的な貿易赤字の状態にある。 | 4. 農産物の輸出を制限し、重化学工業製品のみで輸出品目を絞ることで貿易黒字を達成している。 |
|---|--|---|--|

問13 世界有数の鉄鉱石生産量を誇るブラジルの産業において、2015年当時の統計に基づき、輸出額の上位を占める「農産物」と「鉱産資源」の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|-----------|----------|------------|
| 1. トウモロコシと銅鉱石 | 2. 大豆と鉄鉱石 | 3. 小麦と石炭 | 4. コーヒー豆と金 |
|---------------|-----------|----------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 広大な草原を活かした大規模な牧畜が盛んであり、食文化においても牛肉がよく食べられている。	パンパは平坦で肥沃な土壌に恵まれた広大な草原であり、19世紀以降、冷凍船の発明などによって欧州への輸出が可能になったことから、大規模な牧畜が急速に発展しました。そのため、この地域に位置するアルゼンチンなどでは、牛肉が日常的な食材として深く根付いています。
問2	答え 2 標高の影響で気温が年間を通して低く、低緯度であるため月ごとの気温差も小さい	ラパスのような高山都市は、標高が極めて高いために気温が著しく低くなります。一方で、赤道に近い低緯度に位置しているため、1年を通じた太陽高度の変化が小さく、季節による気温の変化（年較差）がほとんど見られない「常春」のような安定した気温推移となるのが特徴です。
問3	答え 4 世界的な需要の高まりに応じ、増産と輸出拡大が連動して大幅に進んでいる。	ブラジルにおける1990年から2020年までの統計を確認すると、大豆の生産量は一貫して増加し続けています。この増産は、世界的な大豆需要の増大を背景にしたものであり、生産量の増加に合わせて輸出量も同様に大きく伸びているのが特徴です。このように、生産と輸出が密接に関係しながら成長を続けてきました。
問4	答え 3 オセアニア州	サモアやトンガは、太平洋の中でも赤道より南側に広がる「ポリネシア」という地域に含まれる独立国です。これらの島々は、オーストラリアやニュージーランドと共に、世界を6つに分けた「州」の単位では共通のグループに属しています。
問5	答え 4 露天掘り	地表から直接掘り取るこの方法は、地下にトンネルを掘る「坑内掘り」に比べて、大型の重機を投入しやすく大量の資源を効率的に採取できるという特徴があります。オーストラリアでは鉄鉱石や石炭の採掘において広く採用されています。
問6	答え 3 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを強め、多様な人材を受け入れることで国家の発展を図るため。	オーストラリアはイギリスなどのヨーロッパ諸国と歴史的に深い繋がりがありましたが、地理的にはアジアに近いことから、近隣のアジア諸国との貿易や交流が不可欠となりました。そのため、人種による差別をなくし、多様な文化を持つ人々を広く受け入れることで、国際社会での競争力を高め、社会を活性化させる道を選びました。
問7	答え 1 オーストラリア	この国は、広大な国土から産出される豊富な地下資源を背景に、世界有数の資源輸出を支えとして高い経済水準を維持しています。かつては羊毛などの農牧業製品が輸出の中心でしたが、現在では日本や中国などのアジア諸国向けに、鉄鉱石や石炭といった工業原料やエネルギー資源の輸出が大きな割合を占めています。
問8	答え 4 温帯に属する広大な草原で、肥沃な土壌を活かして小麦栽培や肉牛の飼育が行われている。	パンパはアルゼンチン南東部に位置する広大な温帯平原です。降水量が適度で土壌が肥沃であるため、アルゼンチンは牛肉や小麦の世界的な輸出拠点となっています。選択肢にある「熱帯雨林の低地」はアマゾン盆地のセルバを、「標高の高い高原」はアンデス山脈やブラジル高原などを指すため、パンパの説明としては不適切です。
問9	答え 2 赤道よりも南の南半球に位置しており、太陽の光を受ける時期が北半球とずれるため	地球は地軸を傾けた状態で太陽の周りを公転しているため、時期によって太陽光が強く当たる地域が変化します。オーストラリアのような南半球にある国は、日本などの北半球が冬の時期に太陽の光をより強く受ける角度になるため、季節が逆転します。これは単なる天候の違いではなく、地球の公転と緯度に関わる仕組みによるものです。
問10	答え 3 牧場・牧草地	オーストラリアは広大な国土を有していますが、その土地利用において最も際立った特徴は、農地面積の大部分を牧場・牧草地が占めている点にあります。これは、乾燥した気候が広がる土地柄を活かして、牛や羊などの大規模な放牧が行われていることを反映しています。小麦などの栽培を行う耕地や樹園地の面積は、農地全体のごく一部にとどまります。
問11	答え 1 アボリジニ	オーストラリアの先住民族はアボリジニと呼ばれます。18世紀以降の白人の入植によって激しい差別や迫害を受けましたが、1970年代以降は多文化主義への転換に伴い、彼らの権利を認め、独自の文化を尊重する政策がとられるようになりました。なお、マオリはニュージーランドの先住民族です。
問12	答え 1 輸出品目がコーヒーから鉄鉱石や機械類、大豆などへ多角化し、貿易黒字となっている。	ブラジルは1970年代から工業化を推し進め、コーヒーに依存しない経済体制を築いてきました。2015年の統計では、鉄鉱石などの資源や、大豆・肉類といった農産品、さらに機械類なども主要な輸出品目となっており、輸出額が輸入額を上回る貿易黒字を記録しています。
問13	答え 2 大豆と鉄鉱石	ブラジルの輸出構造は、鉄鉱石や原油といった豊富な天然資源と、広大な国土を活かして生産される大豆や肉類などの農畜産物が大きな割合を占めています。特に大豆は、内陸部の開発進展により生産量が急増し、鉄鉱石と並ぶブラジルの主要な輸出商品となっています。

- 問1 南アメリカ州に位置するある国では、第1次産業従事者一人当たりの農地面積が100ヘクタールを超える広大な規模となっている。この国の農業の特徴に関する記述として最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 乾燥した気候に適応するため、羊や馬などの家畜とともに移動する遊牧が行われている | 2. 広大な土地を利用した企業的な大規模農業やプランテーション農業が行われている | 3. 季節風の影響を受ける沖積平野において、小規模な水田稲作が中心に行われている | 4. 国土が狭く平地が少ないため、傾斜地を切り開いた棚田での耕作が行われている |
|--|--|--|---|
- 問2 オセアニアのニュージーランドにおいて、古くから居住している先住民を何と呼びますか。ラグビーのナショナルチームが試合前に行う「ハカ」などの伝統文化を継承している人々を指します。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|--------|--------|
| 1. イヌイト | 2. アボリジニ | 3. アイヌ | 4. マオリ |
|---------|----------|--------|--------|
- 問3 オーストラリアにおいて、1960年代半ばから2000年代初頭にかけて、ヨーロッパからの移民が100万人以上減少する一方で、アジアからの移民が2倍以上に増加した背景にある制度や考え方の変化として、最も適切なものはどれか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 白人以外の移住を制限する白豪主義が撤廃され、異なる文化を尊重し合う多文化主義へと転換した。 | 2. アジア地域からの難民のみを受け入れ対象とする、新しい人道支援制度を創設した。 | 3. 深刻な労働力不足を解消するために、ヨーロッパからの移民受け入れを法律で全面的に禁止した。 | 4. アジア諸国との間で経済連携協定が結ばれたため、ヨーロッパ系住民の市民権をすべて剥奪した。 |
|--|---|---|---|
- 問4 世界の羊毛の生産と輸出に関する統計において、生産量が250千トン近くと非常に多いにもかかわらず、輸出量が50千トン未満にとどまっている国があります。このように、生産量に比べて輸出量が極端に少ない状況が生まれる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 飼育されている羊の品種が衣類への加工に適しておらず、輸出用の製品を作ることができないため。 | 2. 自国内に巨大な繊維産業が存在し、生産された羊毛の多くが国内での加工や消費に回されているため。 | 3. 広大な国土を持つため国内の輸送コストが高く、港まで運んで輸出するよりも国内で消費する方が利益が出るため。 | 4. 羊毛の国際価格が下落したため、国が輸出を制限して国内での備蓄を優先しているため。 |
|--|---|---|---|
- 問5 東南アジアに位置するタイのバンコクやフィリピンのマニラなど、人口が集中する大都市で見られる「スラム」が形成される背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 都市の整備が急激な人口流入のスピードに追いつかず、不法な占拠や劣悪な衛生環境が生じたため | 2. 高度な産業の発達により都市部の地価が暴騰し、もともと住んでいた高所得者層が郊外へ避難したため | 3. 先進国から移住してきた専門職の労働者が、自分たちのコミュニティを守るために特定の地区に居住したため | 4. 政府が農村の生活環境を改善するために、あえて都市部の居住基盤を制限し農村回帰を促したため |
|---|---|--|---|
- 問6 オセアニア州の諸国に見られる歴史的背景と国旗の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. オーストラリアの国旗にあるユニオンジャックは、将来的にイギリスを併合するという建国当時の目的を示している。 | 2. オーストラリアやフィジーの国旗にはイギリスの国旗が含まれており、これはかつての植民地支配の歴史を反映している。 | 3. オセアニアの国々の国旗は、イギリスとの独立戦争での勝利を契機として、すべてイギリスとは無関係な独自の意匠に変更された。 | 4. 貿易の拡大に伴い、オセアニアの全ての国々がイギリスの国旗を自国のデザインの一部として採用することが義務付けられた。 |
|--|--|--|--|
- 問7 南アメリカ大陸の東側に位置し、約2億人の人口を抱える広大な面積を持つ国について、その産業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 鉄鉱石や大豆を主な輸出品とし、コーヒー豆や砂糖の生産が世界的に盛んである。 | 2. 広大な小麦地帯を持ち、世界最大のトウモロコシ輸出量を誇る北アメリカの国である。 | 3. 世界最大の国土面積を持ち、天然ガスや石油などのエネルギー資源の輸出に依存している。 | 4. アジア州に属し、米の生産量が世界一で、近年は衣類などの軽工業から重化学工業へ発展している。 |
|--|--|--|--|
- 問8 オーストラリアの輸出相手国は、第1位が中国、第2位が日本という構成になっています。これら東アジアの国々に対し、オーストラリアが果たしている役割と貿易構造の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源を輸出し、機械類や自動車などの工業製品を輸入する資源輸出型の構造 | 2. 小麦や羊毛などの農産物を専門に輸出し、相手国から安価な労働力を受け入れるモノカルチャー経済の構造 | 3. ICT関連のサービスや技術を輸出し、食料品や衣類などの生活必需品を輸入する第3次産業中心の構造 | 4. 自動車などの高度な工業製品を輸出し、製造に必要な原材料やエネルギーを輸入する加工貿易の構造 |
|--|---|--|--|
- 問9 「日本ブラジル交流年」および「日本人ブラジル移住100周年」を記念して発行された貨幣の裏面には、ある農産物の枝と実がデザインされています。この農産物はブラジルが世界最大の生産量を誇り、かつて多くの日本人移住者がその栽培に従事したことで知られていますが、その農産物として正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|----------|----------|
| 1. 茶 | 2. 綿花 | 3. コーヒー豆 | 4. さとうきび |
|------|-------|----------|----------|
- 問10 南半球に位置し、2000年に夏季オリンピックを開催した国について述べたものとして正しいものはどれか。この国は国土の約3分の2が乾燥帯に属しており、草原や砂漠が広がる自然環境を有している。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------------|-------------|------------|
| 1. ブラジル | 2. ニュージーランド | 3. 南アフリカ共和国 | 4. オーストラリア |
|---------|-------------|-------------|------------|
- 問11 日本、インドネシア、ニュージーランド、アメリカ合衆国、ブラジルの5か国の統計において、国土面積に対する水域（領海および排他的経済水域）の面積の割合が極めて高く、広大な海洋資源の管理権を持つオセアニアの国はどこですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-----------|-------------|---------|
| 1. 日本 | 2. インドネシア | 3. ニュージーランド | 4. ブラジル |
|-------|-----------|-------------|---------|
- 問12 世界遺産は、その土地の歴史的背景や自然環境を象徴するものです。南アメリカ大陸のアンデス山脈の斜面に、緻密な石造りの建造物が並ぶインカ帝国の遺跡と、オーストラリア大陸の広大な平原にそびえ立つ「世界最大級の一枚岩」として知られる自然景観の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------------|----------------|----------------|
| 1. ウルルとマチュ・ピチュ | 2. マチュ・ピチュとアンコール・ワット | 3. テオティワカンとウルル | 4. マチュ・ピチュとウルル |
|----------------|----------------------|----------------|----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 広大な土地を利用した企業的な大規模農業やプランテーション農業が行われている	問題文の条件はブラジルの特徴を示しています。ブラジルでは、コーヒーやサトウキビのプランテーションに加え、大豆などを生産する企業的な大規模農業が発達しており、一人当たりの農地面積が広くなる傾向があります。選択肢の「水田稲作」はタイなどの東南アジア、「遊牧」はモンゴルなどの乾燥地域の特徴です。
問2	答え 4 マオリ	マオリはニュージーランドの先住民で、ポリネシア系の人々です。独自の言語や文化を持っており、かつてはイギリスの植民地支配の影響を受けましたが、現在はその権利や文化が尊重され、ニュージーランドのアイデンティティの重要な一部となっています。
問3	答え 1 白人以外の移住を制限する白豪主義が撤廃され、異なる文化を尊重し合う多文化主義へと転換した。	オーストラリアはかつて「白豪主義」と呼ばれる、白人以外の移民を制限する政策をとっていました。しかし、1970年代にこの政策が完全に廃止され、多様な民族の文化を認め合う「多文化主義」へと移行しました。この政策転換により、ヨーロッパ中心だった移民の受け入れが、地理的に近いアジアなどの近隣地域へと拡大し、人口構成の多様化が進みました。
問4	答え 2 自国内に巨大な繊維産業が存在し、生産された羊毛の多くが国内での加工や消費に回されているため。	羊毛の生産量が多い国の中でも、中国のように自国に大規模な工業（繊維産業）を持つ国では、生産された原料としての羊毛を自国内で加工し、衣製品などにしてから流通させます。そのため、オーストラリアなどの輸出志向が強い国と比較すると、原料としての羊毛の輸出量は生産量の多さに比べて少なくなります。これは国内需要の大きさと産業構造の違いを反映しています。
問5	答え 1 都市の整備が急激な人口流入のスピードに追いつかず、不法な占拠や劣悪な衛生環境が生じたため	発展途上国の大都市では、仕事を求める農村からの流入人口が、都市が受け入れられる限界を超えてしまうことがあります。その結果、本来は居住に適さない土地に人々が住み着き、上下水道などの生活基盤が未整備のまま拡大することでスラムが形成されます。これは都市化が計画的に行われていないことを示す社会問題の一つです。
問6	答え 2 オーストラリアやフィジーの国旗にはイギリスの国旗が含まれており、これはかつての植民地支配の歴史を反映している。	オーストラリアやフィジーといった国々の国旗には、かつてイギリスの植民地であったことを示すユニオンジャックがデザインされています。これはオセアニア州の歴史を理解する上で重要な特徴です。独立に際してアメリカ合衆国のように戦争を経て完全に決別したケースとは異なり、イギリスから平和的に独立し、現在も象徴的なつながりを保っている国々に見られる共通点です。
問7	答え 1 鉄鉱石や大豆を主な輸出品とし、コーヒー豆や砂糖の生産が世界的に盛んである。	ブラジルは広大な国土と豊富な資源を背景に、世界有数の農業・鉱工業国として知られています。特にコーヒー豆の生産量は長年世界1位を維持しており、サトウキビ（砂糖）の生産も盛んです。また、カラジャス鉄山などに代表される豊富な鉄鉱石資源を有し、日本を含む世界各国へ輸出しています。近年では航空機などの機械類の生産も伸びており、経済発展が著しいBRICSの一角を担っています。
問8	答え 1 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源を輸出し、機械類や自動車などの工業製品を輸入する資源輸出型の構造	オーストラリアの貿易は、豊富な天然資源を背景にした「資源輸出型」が特徴です。中国や日本といったアジアの工業国に対して、鉄鋼の原料となる鉄鉱石やエネルギー源となる石炭を供給する一方で、自国で不足する機械類や自動車などの工業製品をこれらの国々から輸入しています。
問9	答え 3 コーヒー豆	ブラジルは広大な国土と気候条件を活かし、世界最大のコーヒー豆生産国としての地位を築いています。明治時代以降、日本（特に沖縄県など）から多くの人々がブラジルへ移住しましたが、その多くがサンパウロ州などのコーヒー農園で「コロノ」と呼ばれる契約労働者として働きました。この歴史的なつながりを象徴するため、移住100周年記念貨幣の意匠にもコーヒーが採用されています。
問10	答え 4 オーストラリア	2000年にシドニーでオリンピックを開催したオーストラリアは、世界で最も平坦で乾燥した大陸の一つです。国土の約3分の2が乾燥帯であり、中央部には広大な砂漠が広がっています。この地理的条件は、人々の居住地域や農業の分布に大きな影響を与えています。
問11	答え 3 ニュージーランド	ニュージーランドは国土面積が約27万平方キロメートルと比較的規模が小さい島国ですが、周囲を広大な太平洋に囲まれているため、沿岸から200海里までに設定される排他的経済水域（EEZ）の面積が非常に大きくなります。このため、国土面積に対する水域面積の比率は、大陸国家や他の島国と比較しても際立って高い数値を示します。
問12	答え 4 マチュ・ピチュとウルル	南アメリカ大陸のペルーに位置するマチュ・ピチュは、15世紀に築かれたインカ帝国の遺跡で、その立地から「空中都市」とも呼ばれます。一方、オーストラリア大陸のほぼ中央に位置するウルル（エアーズロック）は、巨大な砂岩の一枚岩であり、先住民アボリジニの聖地としても知られています。両者の所在地を混同しないことが重要です。

- 問1 南アメリカ南部に位置し、西側にアンデス山脈、東側に広大な草原であるパンパが広がる国の産業について、正しい説明はどれですか。なお、この国における自動車の統計では、国内生産台数が約47万台であるのに対し、販売台数が約90万台に達しています。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 広大なパンパの全域でバイオ燃料の原料となるサトウキビが栽培されており、世界に先駆けてアルコール燃料車の普及が進んでいる。 | 2. アマゾン川流域の熱帯雨林開発を背景に、世界最大級の鉄鉱石産出量を誇る重化学工業が南米で最も発達している。 | 3. アンデス山脈から産出される銅の輸出が経済の柱であり、自動車などの工業製品のほとんどを日本や中国からの輸入に頼っている。 | 4. 農畜産物の輸送用トラックの需要や隣国との貿易状況が自動車生産に大きな影響を与えており、周辺国と結ぶ高速道路の整備も進んでいる。 |
|---|---|--|--|
- 問2 ブラジルからの輸入総額を1975年から2015年まで5年ごとに調査した統計において、5年前と比較して「輸入総額が増加した」時期の正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 1. 1975年～1980年、および2005年～2010年の区間 | 2. 1980年から1985年、および1990年から1995年の区間 | 3. 1975年から2015年までのすべての5年区間 | 4. 1990年～1995年、および1995年～2000年の区間 |
|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
- 問3 主に南半球に位置する大陸で、その西側には標高4000メートルを超える険しいアンデス山脈が南北に走り、東側には広大な平原が広がっているという地形的特徴を持つ大陸はどこですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. ユーラシア大陸 | 2. 南アメリカ大陸 | 3. アフリカ大陸 | 4. 北アメリカ大陸 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問4 南アメリカ大陸の西側にあるアンデス山脈や日本列島周辺は、火山活動や地震が非常に多い地域として知られています。これらの地域に共通する地理的背景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--|---|--|
| 1. プレートの境界付近に位置しており、地殻運動が活発であるため | 2. 古生代の造山運動によって形成された後、長期間の浸食を受けて平坦になったため | 3. 大陸の中央部に位置しており、数億年以上前から安定した地盤が続いているため | 4. プレートが左右に広がる境界に位置し、海底から新しい地殻が次々と生まれているため |
|----------------------------------|--|---|--|
- 問5 オーストラリア大陸の東側に位置するグレートディバイディング山脈の地形的特徴とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 古期造山帯に分類され、長い年月をかけて浸食を受けたため、標高が比較的低くならかな山筋が続いている。 | 2. 氷河による浸食を強く受けたフィヨルド地形が連続しており、海岸線から急激に標高が上がる複雑な地形を成している。 | 3. 環太平洋造山帯の一部であり、現在も活発な火山活動によって山脈の標高が高くなり続けている。 | 4. 新期造山帯に分類され、プレートの境界付近に位置するため、標高4000mを超える険しい山々が連なっている。 |
|--|---|---|---|
- 問6 ブラジルにおける1990年以降の統計において、森林面積が減少傾向にある一方で生産量が著しく伸びている農作物と、それに関連して発生している環境問題の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
| 1. 作物は綿花であり、農業の大量散布によって土壌汚染が深刻化している。 | 2. 作物は大豆であり、農地開発を目的とした森林伐採により生態系が破壊されている。 | 3. 作物は小麦であり、過度な灌漑によって農地の塩類集積が進んでいる。 | 4. 作物はコーヒーであり、プランテーションの拡大により砂漠化が進行している。 |
|--------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
- 問7 オーストラリアやニュージーランドなどの国々では、羊毛の生産量に比例して輸出量も多い傾向にあります。一方で、統計において「生産量は非常に多いが、輸出量は生産量の数分の一程度と少ない」という特徴を持つ国として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|-------|---------|
| 1. 南アフリカ共和国 | 2. ウルグアイ | 3. 中国 | 4. イギリス |
|-------------|----------|-------|---------|
- 問8 2009年から2013年にかけてのブラジルの土地利用に関する統計では、森林面積が約2,600万ha減少した一方で、農地面積が約1,400万ha増加しています。このような変化が起こっている主な背景として適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. 砂漠化の進行を防ぐために、農地を放棄して大規模な緑化を進めたこと | 2. バイオ燃料の原料となるサトウキビの栽培を中止し、植林を優先したこと | 3. 輸出用の大豆栽培や肉牛の放牧を行うための農地開発が進んだこと | 4. 工業化による都市の拡大を抑えるため、農地の宅地転用が厳しく制限されたこと |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
- 問9 オーストラリアやニュージーランドの国旗には、青色を基調とした地に南十字星が描かれ、その左上部分には「ユニオンジャック」と呼ばれる意匠が組み込まれています。このようなデザインが国旗に採用されている歴史的な背景として最も適切なものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりを示すため | 2. 南半球におけるイギリスの領土であることを現在も法的に主張し続けるため | 3. フランスやスペインの勢力から身を守るために、イギリスとの軍事同盟を強調したため | 4. イギリスから独立する際に、将来的に国旗を統合する条約を結んだため |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問10 南アメリカ大陸の地形的特徴について述べた次の文のうち、アンデス山脈の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 大陸の東側に沿って南北に走り、標高が四千メートルを超えるが起伏の少ない古期造山帯の山脈。 | 2. 大陸を東西に貫くように走り、標高が六千メートルを超える非常に険しい安定陸塊の山脈。 | 3. 大陸の西側に沿って南北に走り、標高が二千メートル以下でなだらかな形状を持つ古期造山帯の山脈。 | 4. 大陸の西側に沿って南北に走り、標高が四千メートルから六千メートルを超える険しい新期造山帯の山脈。 |
|---|--|---|---|
- 問11 南アメリカ大陸のアンデス山脈周辺などの高地において、アルパカの毛を編んで作られたポンチョや、耳まで覆うことができる帽子が伝統的に着用されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 砂漠地帯で風が強く、砂ぼこりが目や口に入るのを防ぐため | 2. 熱帯雨林特有の激しい降雨から身を守り、湿度による体温上昇を防ぐため | 3. 標高が高く、寒さが厳しいとともに紫外線が強いため | 4. 地中海性気候における夏季の乾燥した強い日差しを遮るため |
|--------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
- 問12 南アメリカのアマゾン川流域に広がる地域について、近年、大規模な伐採によって熱帯林が急速に減少しています。伐採された跡地の主な利用目的として、現在最も多く見られるものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 都市化に伴う大規模な住宅団地や先端工業都市の建設 | 2. 伝統的な移動を繰り返す遊牧を行うための草地の確保 | 3. 酸性雨によって枯れた木々を再生させるための計画的な植林 | 4. 肉牛を飼育するための牧場や、大豆などを栽培する農地への転用 |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 農畜産物の輸送用トラックの需要や隣国との貿易状況が自動車生産に大きな影響を与えており、周辺国と結ぶ高速道路の整備も進んでいる。	アルゼンチンは、広大な草原であるパンパを活かした農牧業が盛んなため、それらを運ぶトラックの需要が自動車産業と密接に関わっています。また、メルコスール（南米南部共同市場）などの枠組みを通じて隣国との貿易が盛んであり、経済状況が生産台数に影響を及ぼすほか、物流を円滑にするためのインフラ整備も重要な課題となっています。他選択肢にある「アマゾン川」や「世界最大の鉄鉱石」はブラジル、「銅の輸出」はチリの特徴です。
問2	答え 1 1975年～1980年、および2005年～2010年の区間	ブラジルからの輸入総額が5年前と比較して増加したのは、1975年→80年、1985年→90年、2000年→05年、2005年→10年の合計4度です。1990年から1995年にかけては輸入額が減少（46百億円から37百億円）しており、増加の事例には当てはまりません。
問3	答え 2 南アメリカ大陸	南アメリカ大陸は、その大部分が赤道より南の南半球に位置しています。大陸の西縁には環太平洋造山帯に属する標高の高いアンデス山脈がそびえ、それに対して東側にはアマゾン川流域などに代表される広大な平原が広がっているのが大きな地形的特色です。
問4	答え 1 プレートの境界付近に位置しており、地殻運動が活発であるため	アンデス山脈や日本列島は、環太平洋造山帯という大きな変動帯の一部に属しています。海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むなどのプレート運動によって、巨大なエネルギーが蓄積され、それが火山の噴火や地震、急峻な山脈の形成へとつながっています。これに対し、地震や火山がほとんどないアフリカ大陸やオーストラリア大陸の大部分は安定陸塊と呼ばれます。
問5	答え 1 古期造山帯に分類され、長い年月をかけて浸食を受けたため、標高が比較的低くならかな山筋が続いている。	グレートディバイディング山脈は、古生代の造山運動によって形成された「古期造山帯」に属します。ヒマラヤ山脈やアンデス山脈のような「新期造山帯」と比較すると、形成されてからの期間が非常に長いため、風雨による浸食が進んでいます。その結果、最高峰のコジアスコ山でも標高は2228mにとどまり、全体としてなだらかな起伏の山地となっています。
問6	答え 2 作物は大豆であり、農地開発を目的とした森林伐採により生態系が破壊されている。	ブラジルは世界最大級の大豆生産国ですが、その耕作地を確保するために広大な森林が失われています。森林伐採は、二酸化炭素の吸収源を減らすだけでなく、そこに生息する多様な生物のすみかを奪うことにもなり、地球規模の環境問題として重要視されています。
問7	答え 3 中国	中国は世界有数の羊毛生産国ですが、世界最大の繊維工業国でもあるため、生産した羊毛の多くを国内で消費します。オーストラリアやニュージーランドが人口に比して広大な土地で羊を飼育し、その多くを海外へ輸出する「輸出志向」の畜産業を行っているのに対し、中国は国内での加工・消費が中心となるため、輸出統計では生産量に対して低い数値を示す特徴があります。
問8	答え 3 輸出用の大豆栽培や肉牛の放牧を行うための農地開発が進んだこと	ブラジルでは、世界的な需要がある大豆の栽培や牛肉の生産を目的として、アマゾン川流域などの熱帯林を切り開いて農地や放牧地に転用する開発が続いてきました。このため、統計上でも森林面積の減少と農地面積の増加という対照的な動きが見られます。こうした開発は地球温暖化などの環境問題の観点からも国際的に注目されています。
問9	答え 1 かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりを示すため	オセアニアに位置するオーストラリアやニュージーランドは、かつてイギリスの植民地であったという歴史的背景を持っています。国旗の左上に配置されたユニオンジャックはイギリスの象徴であり、現在もイギリス連邦（コモンウェルス）の一員として、イギリスとの深い歴史的・文化的な結びつきを維持していることを反映しています。
問10	答え 4 大陸の西側に沿って南北に走り、標高が四千メートルから六千メートルを超える険しい新期造山帯の山脈。	アンデス山脈は、環太平洋造山帯の一部である新期造山帯に属しています。形成された時期が新しいため、浸食があまり進んでおらず、標高が高く険しい山々が連なっているのが特徴です。その位置は南アメリカ大陸の西端に偏っており、太平洋に沿って南北に約7,000kmにわたって伸びています。東側に位置するブラジル高原などは、より古い時代に形成された安定した地塊であり、対照的な地形を形成しています。
問11	答え 3 標高が高く、寒さが厳しいとともに紫外線が強いため	アンデス山脈のような高山地域は、標高が高いために気温が低く、また空気が薄いため地表に届く紫外線が非常に強いという過酷な自然環境にあります。アルパカの毛は保温性に優れており、防寒具として非常に適しています。また、つばのついた帽子や耳まで覆う帽子を着用することで、寒さから身を守るだけでなく、強い日差し（紫外線）による肌へのダメージを防ぐ工夫がなされています。
問12	答え 4 肉牛を飼育するための牧場や、大豆などを栽培する農地への転用	ブラジルを中心とするアマゾン川流域では、1960年代以降の道路建設や地域開発に伴い、広大な熱帯林の伐採が進められてきました。伐採された後の土地は、主に輸出用の牛肉を生産するための牧場や、飼料用などの大豆を生産する大規模な農地として利用されており、これが森林破壊の大きな要因となっています。世界の環境保全と経済開発のバランスが問われている重要な事例です。

- 問1 オーストラリアの輸出相手国の変化について、かつてはイギリスなどの欧米諸国が中心でしたが、近年ではアジア諸国が大きな割合を占めるようになっていきます。この変化の主な要因として、輸出品目の変化と関連付けて説明したものととして最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アジア諸国の工業化にともない、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の需要が高まったため。 | 2. 欧米諸国との貿易摩擦を避けるために、輸出先をあえて近隣の島嶼国に限定したため | 3. 欧米諸国での人口増加にともない、羊毛や小麦などの農産物の輸出を制限したため。 | 4. アジア諸国において羊毛を用いた伝統的な衣服の需要が急激に高まったため。 |
|--|---|---|--|
- 問2 南アメリカ大陸を南北に貫くアンデス山脈において、標高の高い厳しい環境に対応するために、古くから移動や運搬、毛の利用などを目的として飼育されてきた家畜を答えなさい。
(2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|-------|
| 1. リヤマ | 2. トナカイ | 3. ラクダ | 4. ヤク |
|--------|---------|--------|-------|
- 問3 日本の卸売市場におけるかぼちゃの流通状況を見ると、11月から1月にかけての冬の時期に、日本国内産の出荷が減少する一方で、特定の国からの輸入が急増し、市場の大部分を占めることがあります。この時期にその国からの輸出が可能である地理的な理由として、最も適切なものはどれですか。
(2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. その国は赤道直下に位置しており、一年中気温が高く降水量も多いため、時期を問わず常に安定して収穫できるから。 | 2. その国は北緯40度付近に位置しており、日本と気候が似ているため、同じ栽培方法で大量生産が可能だから。 | 3. その国は標高が高い高地に位置しており、冷涼な気候を利用して、日本の夏場に合わせた抑制栽培を行っているから。 | 4. その国は南半球に位置しており、日本と季節が反対になるため、日本の冬にあたる時期に収穫期を迎えるから。 |
|--|---|--|---|
- 問4 南半球に位置し、東側は太平洋、西側はインド洋に面している、世界で最も面積が小さい大陸の名称として適切なものを選びなさい。
(2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------------|-----------|------------|
| 1. 南極大陸 | 2. オーストラリア大陸 | 3. アフリカ大陸 | 4. 南アメリカ大陸 |
|---------|--------------|-----------|------------|
- 問5 南アメリカ州のブラジルでは、世界的な需要の高まりに応えるために畜産業が盛んに行われていますが、これに伴う環境への影響が議論されています。生産されている家畜と、それに関連して発生している課題の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. 羊：乾燥地での過放牧による砂漠化の進行 | 2. 豚：冷涼な気候に適応させるための森林の伐採 | 3. 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採 | 4. ヤギ：高地での飼育に伴う土壌浸食の発生 |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|
- 問6 オーストラリアの気候区分の割合を示した統計において、国土面積の約75パーセントという広大な範囲を占めている、降水量が極めて少なく樹木の生育が困難な気候帯を何といいますか。
(2026年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 乾燥帯 | 2. 温帯 | 3. 熱帯 | 4. 寒帯 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問7 ペルーの主要な水産資源であるアンチョビの利用や、その背景にある環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アンチョビは暖流の影響で大量に発生し、その多くが日本や中国向けの生食用として空輸され、ペルーの輸出額の過半数を占めている。 | 2. アンチョビはタコやイカとともに乾燥加工され、熱帯雨林が広がる首都周辺の住民にとって唯一の現金収入源となっている。 | 3. 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。 | 4. アンチョビの漁獲量は、エルニーニョ現象が発生して沿岸の海水温が低下すると急増するため、国の経済を支える安定した資源となっている。 |
|--|---|--|---|
- 問8 南アメリカの諸地域における農業の特色について、アンデス山脈周辺の地域において古くから主食として栽培されている農作物の名称として正しいものを次の中から選びなさい。
(2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. キャッサバ | 2. トウモロコシ | 3. じゃがいも | 4. サトウキビ |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問9 南アメリカのアンデス山脈における、高度ごとの農業や人々の生活の様子を説明した文として正しいものはどれですか。
(2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 標高が高くなるほど気温が上がる性質を利用して、山頂に近いほど熱帯由来の作物が栽培されている。 | 2. 北アメリカのロッキー山脈と同じように、ふもとから山頂付近まで一貫して広大な小麦畑が広がっている。 | 3. 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリヤマやアルパカの放牧が行われている。 | 4. 標高3,000メートルを超える寒冷な地域では、トウモロコシの栽培が最も盛んに行われている。 |
|---|---|---|--|
- 問10 南アメリカ大陸の北部を横切る赤道と、オーストラリア付近を通る特定の経線が交わる地点は、ブラジル北西部の内陸付近に位置しています。この赤道直下の地域で見られる地理的な特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アンデス山脈のふもとに位置し、パンパと呼ばれる広大な温帯草原が広がっている。 | 2. 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。 | 3. 寒流の影響を強く受けるため、赤道付近であっても年間を通して降水量が極めて少ない。 | 4. 標高が高いため一年中涼しく、インカ帝国の遺跡が残る高山都市が発展している。 |
|---|--|---|--|
- 問11 オセアニア地域に含まれるオーストラリアやニュージーランドについて、2017年から2019年の統計資料から読み取れる日本人の動向として、正しい説明はどれですか。
(2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|------------------------------------|---|
| 1. ビジネス目的の訪問者が急増した一方で、治安への不安から日本人留学生数は減少した。 | 2. ASEAN諸国への留学人気に押され、日本人留学生数と訪問者総数の両方が減少した。 | 3. 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。 | 4. 英語教育への関心の高まりを受け、訪問者総数と留学生数の両方が大幅に増加した。 |
|---|---|------------------------------------|---|
- 問12 南アメリカ大陸の西側に連なるアンデス山脈周辺の高地では、人々は厳しい自然環境に合わせて独自の生活文化を築いてきました。この地域で見られる、標高が高いことに起因する気候の特徴と、そこで営まれている産業や生活についての説明として正しいものを選択してください。
(2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 低緯度で一年中高温多湿なため、熱帯雨林が広がり、高地を利用した広大なコーヒーのプランテーションが展開されている。 | 2. 一年中気温の変化が少なく涼しいため、ラパスなどの高山都市が発達し、毛織物の原料となるアルパカなどが飼育されている。 | 3. 季節による気温差が非常に大きいので、冬の寒さに耐えられるよう、厚い毛を持つラクダが主な移動手段として使われている。 | 4. 標高が高く降水量が極端に多いため、大規模な稲作が行われ、水辺に適したトナカイが家畜として利用されている。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アジア諸国の工業化にともない、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の需要が高まったため。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった背景から、羊毛などの農産物を主に欧米へ輸出していました。しかし、日本や中国といったアジア諸国の経済発展と工業化が進むにつれ、製鉄に必要な鉄鉱石や、火力発電の燃料となる石炭などの鉱産資源の需要が増大しました。地理的な近さもあり、現在のオーストラリアにとってアジア諸国は極めて重要な貿易相手となっています。
問2	答え 1 リヤマ	アンデス山脈の高地では、酸素が薄く寒冷な気候に適応したリヤマやアルパカが家畜として利用されています。これらは急峻な山道での荷物運搬において重要な役割を果たしており、アンデスの人々の生活に欠かせない存在です。
問3	答え 4 その国は南半球に位置しており、日本と季節が反対になるため、日本の冬にあたる時期に収穫期を迎えるから。	日本とオセアニアの島国であるトンガは、赤道を挟んで北半球と南半球に分かれているため、季節が反対になります。日本ではかぼちゃの収穫が冬場に減少しますが、南半球のトンガでは日本の冬が夏から秋の収穫期に当たります。この「季節のズレ」という地理的条件を利用して、日本国内の生産量が少ない時期（端境期）を狙った輸出が行われています。
問4	答え 2 オーストラリア大陸	オーストラリア大陸は、すべてが南半球に含まれる世界最小の大陸です。東側に太平洋、西側にインド洋が広がっており、北側にはインドネシアなどの東南アジア諸国が位置しています。その面積は日本の約20倍ですが、大陸の中では最も小さく、一つの国が大陸の大部分を占めているのが特徴です。
問5	答え 3 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採	ブラジルにおける開発と環境保護の対立は、地理学習において非常に重要なテーマです。世界第2位の生産量を誇る「牛」の生産を支えるため、もともと森林であった場所が「牧場」へと作り替えられており、これが「熱帯林の減少」の直接的な原因となっています。選択肢にある豚や羊、ヤギは、ブラジルの森林減少における主因とはなっていません。
問6	答え 1 乾燥帯	オーストラリア大陸はその大部分が中緯度高圧帯（中緯度高気圧）の影響下にあるため、上昇気流が起こりにくく、雨がほとんど降りません。このため、国土の4分の3以上という極めて高い割合を、砂漠やステップが広がる気候帯が占めることになります。
問7	答え 3 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。	ペルーで大量に獲れるアンチョビは、魚粉（フィッシュミール）に加工されて世界中に輸出され、主に家畜の餌や農作物の肥料として使われます。一方で、新鮮な魚が手に入りにくいアンデス山脈などの山岳地帯の住民にとっては、貴重な栄養源（タンパク質）としての役割も果たしています。なお、エルニーニョ現象発生時は海水温が上昇するため、漁獲量は減少します。
問8	答え 3 じゃがいも	アンデス山脈周辺の地域では、地形や気候などの自然環境に合わせて多様な農業が行われています。じゃがいもはアンデス山脈が原産地とされており、標高が高く冷涼な地域においても栽培が可能のため、古くからこの地域に住む人々の生活を支える主食として栽培され続けてきました。
問9	答え 3 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリヤマやアルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈では、標高が上がるにつれて気温が下がる気候特性に合わせた「高度別農業」が行われています。標高3,000メートル以上の高冷地ではジャガイモが栽培され、さらに厳しい環境となる4,000メートル以上の地域では、家畜であるリヤマやアルパカの放牧に頼る生活様式が見られます。ロッキー山脈は北アメリカに位置する山脈であり、アンデスの特徴とは異なります。
問10	答え 2 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。	南アメリカ大陸の北部には赤道が通っており、特にブラジル北西部の低地はアマゾン川の流域にあたります。この地域は赤道直下のため一年中気温が高く、上昇気流によって多量の雨が降る熱帯雨林気候となっており、「セルバ」と呼ばれる広大な熱帯雨林が広がっています。パンパはアルゼンチンなどの大陸南部に位置する温帯草原であり、インカ帝国の遺跡などは主にアンデス山脈の高地に見られる特徴です。
問11	答え 3 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。	オセアニアにおける日本人訪問者の動向を統計的に捉えると、観光客数などの変動に関わらず、学習を目的とした滞在者が一貫して増えているという特徴があります。これは、単なる観光地としての魅力だけでなく、語学学習や異文化理解を目的とした中長期的な教育交流が深化していることを示しています。統計分析においては、全体の数値だけでなく目的別の内訳を比較することで、こうした社会的な背景を読み取ることが可能です。
問12	答え 2 一年中気温の変化が少なく涼しいため、ラパスなどの高山都市が発達し、毛織物の原料となるアルパカなどが飼育されている。	アンデス山脈の高地では「常春」とも表現されるように、一年を通して気温の変化が小さく、冷涼な気候が続きます。このため、熱帯の低地よりも過ごしやすい高地にラパスのような大都市が形成されました。この地域特有の家畜であるリヤマ（主に運搬用）やアルパカ（主に衣類の原料となる毛用）は、高地の厳しい環境に耐えることができるため、人々の生活を支える重要な存在となっています。選択肢にあるトナカイは北極圏、ラクダは主に乾燥帯の動物であり、地域的な特徴が異なります。

南アメリカ・オセアニア 州プリント

名前

- 問1 世界の農産物生産割合（2023年）をまとめた統計において、大豆の生産シェアが世界の51.7%と過半数を占めている地域はどこですか。この地域では、ブラジルやアルゼンチンを中心に、世界的な需要に応えるため大規模な農地開発が進められています。（2026年 福岡県公立入試 類似）
1. アフリカ州 2. 南アメリカ州 3. アジア州 4. 北アメリカ州
- 問2 南アメリカ大陸のチリ中部に位置する都市サンティアゴの気候の特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 大陸北部の低緯度地帯に位置し、一年中気温が高いが、雨季と乾季がはっきりと分かれるサバナ気候に属している。 2. 南回歸線付近の大陸東岸に位置し、1月頃の夏に降水量が多く、一年を通じて温暖な温暖湿潤気候に属している。 3. 赤道直下に位置するため一年を通じて高温多雨であり、季節による降水量の変化がほとんどない熱帯雨林気候に属している。 4. 南半球の中緯度に位置し、1月頃の夏に乾燥し、7月頃の冬に雨が降る地中海性気候に属している。
- 問3 日本とニュージーランドの月別平均気温を比較すると、一方が高い時期に他方が低くなるという、正反対の変化が見られます。このような地理的特徴を活かした、日本によるニュージーランドからのかぼちゃの輸入に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 日本でかぼちゃが大量に収穫される夏から秋にかけて、価格を抑えるためにニュージーランドからも同時に輸入している。 2. 日本とニュージーランドには大きな時差があるため、輸送中の鮮度劣化を防げるという利点を活かして輸入している。 3. 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。 4. ニュージーランドは赤道直下に位置し一年中気温が高いため、日本の収穫時期に関わらず毎月一定量を輸入している。
- 問4 2022年の統計によると、オーストラリアの輸出相手先は中国が約29%、日本が約19%、韓国が約8%を占めており、特定の地域に向けた輸出が全体の過半数を超えています。現在のオーストラリアにとって、最も主要な貿易相手となっている地域を次の中から選びなさい。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ諸国 2. アフリカ諸国 3. アジア諸国 4. 北アメリカ諸国
- 問5 南アメリカのアンデス山脈沿いに位置する都市において、月平均気温の推移が「年間を通して10度から15度の間で横ばい」となり、降水量は5月から8月の冬にあたる時期に少なく、夏に多くなるという特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 赤道直下の低地であり、強い日射によって一年中気温が高く上昇気流が発達するから。 2. 高緯度の寒冷な地域に位置しており、偏西風の影響を強く受けているから。 3. 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。 4. 内陸の盆地に位置しており、夏と冬の気温の差が非常に大きくなるから。
- 問6 オセアニア州に属する多くの島国では、近年の地球温暖化に伴う海面上昇によって、国土が水没の危機にさらされるなど深刻な影響を受けています。このような地理的背景をもつオセアニア州の概要として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. ユーラシア大陸の西側に位置し、地中海を囲むようにして多くの国々が隣接している。 2. 赤道を挟んで北半球に位置し、世界で最も人口が密集している州である。 3. 広大なアマゾン川流域の熱帯雨林を抱え、アンデス山脈が縦断している。 4. 六つの州の中で最も陸地面積が小さく、多くのサンゴ礁の島々や火山島が含まれる。
- 問7 ブラジルの農業において、近年、世界市場での存在感が高まっている大豆の生産背景を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 都市近郊の限られた土地に化学肥料を大量に投入し、集約的な農業を行ったため 2. 伝統的な焼畑農業を大規模に継続し、自然のサイクルのみで生産量を増やしたため 3. 小規模な農家が協力し合い、すべて手作業で高品質な作物を生産しているため 4. 広大な土地に大型の農業機械を導入することで、大規模な生産体制を確立したため
- 問8 ブラジルの農産物生産統計において、2006年には約4億7741万トンであったある農作物の生産量が、2010年には約7億1746万トンへと短期間で大幅に増加しました。この農作物は、自動車などの燃料として利用されるバイオ燃料の原料となりますが、この農作物の名称として正しいものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. バナナ 2. コーヒー豆 3. オレンジ 4. さとうきび
- 問9 南アメリカ大陸の広大な国土を持つブラジルにおいて、沿岸部に集中していた人口や産業を分散させ、内陸部の開発を促進する目的で1960年に新たに建設された首都はどこですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
1. ブエノスアイレス 2. サンパウロ 3. リオデジャネイロ 4. ブラジリア
- 問10 オーストラリアの産業の分布について述べた次の記述のうち、大陸の北部から東部、および内陸部にかけて広く行われている農業と、大陸北西部の沿岸付近に主要な産出地が集中している地下資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 羊の飼育と石炭 2. 米の栽培とボーキサイト 3. 牛の放牧と鉄鉱石 4. 小麦の栽培と銅
- 問11 1960年代のブラジルにおける輸出総額の品目別割合を見ると、コーヒー豆などの特定の農産物が輸出の大部分を占めていました。このように、特定の農産物や鉱産資源の生産と輸出に国の経済が過度に依存している状態を何といいますか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. プランテーション 2. 多角経営 3. 混合農業 4. モノカルチャー経済
- 問12 チリの輸出総額は、1993年の約92億ドルから2017年には約692億ドルへと大幅に増加しました。この期間の輸出相手国の変化について、1993年と2017年の状況を比較して説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
1. 経済発展に伴い国内消費が増えたため、輸出総額は増えたものの輸出相手国の顔ぶれに変化は見られなかった。 2. 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。 3. アジア州の国々への輸出が伸び悩み、代わりに南アメリカ州内での近隣諸国との貿易が中心となった。 4. 輸出総額の増加に伴い、アメリカ合衆国の占める割合が首位を維持し続け、独占状態が強まった。
- 問13 世界の諸地域の農業・環境に関する統計において、森林面積の減少幅が約1980万ヘクタールに達しており、他の州と比較して圧倒的に森林が失われている地域があります。また、この地域は世界の穀物生産の約7パーセントを占める特徴も持っています。この統計が示している州として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ州 2. アフリカ州 3. 南アメリカ州 4. オセアニア州

答え合わせ・解説

問1	答え 2 南アメリカ州	南アメリカ州、特にブラジルやアルゼンチンでは大豆の生産が非常に盛んであり、世界全体の生産量の半分以上を占めています。一方、カカオ豆のシェアが6割を超えるのはアフリカ州であり、統計資料を読み解く際は、作物ごとの主要な生産地域を区別して理解することが重要です。
問2	答え 4 南半球の中緯度に位置し、1月頃の夏に乾燥し、7月頃の冬に雨が降る地中海性気候に属している。	サンティアゴは南半球の中緯度、大陸の西岸に位置しており、地中海性気候に分類されます。この気候区では、夏にあたる1月前後に亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾燥し、冬にあたる7月前後に温帯低気圧や前線の影響を受けて雨が降るという、夏と冬で降水分布が逆転する明確な特色が見られます。
問3	答え 3 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。	日本が位置する北半球と、ニュージーランドが位置する南半球では、季節が正反対になります。この「季節の逆転」を利用すると、日本が冬の時期に南半球のニュージーランドは夏から秋の収穫期を迎えることになります。日本で国内産のかぼちゃが品不足になる時期に、ちょうど収穫期となるニュージーランドから輸入することで、一年を通じて安定的に農産物を供給できるという補完的な貿易関係が築かれています。時差や赤道直下の気候は、この貿易の主な理由ではありません。
問4	答え 3 アジア諸国	オーストラリアはかつて宗主国であるイギリスをはじめとしたヨーロッパ諸国との貿易が中心でしたが、1960年代以降、地理的な距離の近さを重視する政策へと転換しました。その結果、急速な経済成長を遂げた日本や中国、韓国といった近隣のアジア諸国が主要な輸出相手となり、現在では輸出総額の半分以上をアジア向けの資源や農産物が占めています。
問5	答え 3 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。	南米アンデス山脈の高原地帯は赤道に近い低緯度にあるため、月ごとの平均気温の差である年較差が非常に小さくなります。しかし、標高が数千メートルに達するため、気温そのものは低地よりも大幅に低くなり、一年中涼しい高山気候特有のグラフ（横ばいの気温曲線）を示します。この気候を活かして、古くからインカ帝国のクスコのような都市が発展してきました。
問6	答え 4 六つの州の中で最も陸地面積が小さく、多くのサンゴ礁の島々や火山島が含まれる。	オセアニア州はオーストラリア大陸を除くと、その多くが太平洋に浮かぶ小さな島国で構成されています。標高の低いサンゴ礁の島々は地球温暖化による海面上昇の影響を非常に受けやすく、ツバルやキリバスといった国々では国際的な対策が急務となっています。他の選択肢については、人口が最も多いのはアジア州、地中海に面しているのはヨーロッパ州やアフリカ州、アマゾン川があるのは南アメリカ州の説明です。
問7	答え 4 広大な土地に大型の農業機械を導入することで、大規模な生産体制を確立したため	ブラジルは大豆生産は、広大な国土と機械化された大規模農場（ファゼンダなど）が組み合わさることで急速に発展しました。これにより、手作業や小規模経営では不可能な低コストでの大量生産が実現し、アメリカ合衆国と並ぶ世界最大級の大豆供給国となりました。
問8	答え 4 さとうきび	ブラジルでは、世界的な環境意識の高まりや石油価格の変動を背景に、石油代替エネルギーとしてのバイオエタノールの需要が急速に高まりました。その主原料であるさとうきびは、2000年代後半に生産量が飛躍的に増加し、ブラジルの農業およびエネルギー政策における最重要作物の一つとなっています。
問9	答え 4 ブラジリア	ブラジルでは長らく沿岸部のリオデジャネイロに首都が置かれていましたが、国土の均衡ある発展を目指して内陸部への遷都が行われました。新首都としてゼロから建設されたこの都市は、飛行機の形をした独特の都市計画や近代建築が評価され、歴史が新しい都市でありながら世界遺産にも登録されています。
問10	答え 3 牛の放牧と鉄鉱石	オーストラリアでは気候条件に合わせて農牧業が営まれています。北部から東部、内陸部にかけては降水量や地下水の状況に応じて牛の放牧が広く行われています。一方、地下資源については、大陸北西部のピルバラ地区などに鉄鉱石の大きな産地が集中しており、日本などへ大量に輸出されています。石炭は主に大陸東部で産出されるため、北西部に集中しているという記述とは一致しません。
問11	答え 4 モノカルチャー経済	「モノ」は「単一の」という意味を持ち、特定のわずかな種類の産品に依存する経済構造を指します。発展途上国に多く見られる形態ですが、国際価格の変動や天候による収穫量の増減が、国の経済全体を左右してしまうという不安定さを抱えています。プランテーションは、こうした輸出用作物を栽培する大規模農園そのものを指す用語です。
問12	答え 2 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。	チリは銅などの豊富な鉱産資源を背景に輸出額を大きく伸ばしました。1993年時点では上位5か国に入るアジアの国は日本だけでしたが、2017年には中国、日本、韓国の3か国が上位に入るようになり、アジア地域がチリにとって極めて重要な市場へと変貌を遂げたことを示しています。特に中国の存在感は圧倒的であり、かつて最大だったアメリカ合衆国の割合を大きく上回っています。
問13	答え 3 南アメリカ州	アマゾン川流域を抱える南アメリカ州では、開発によって広大な熱帯林が失われており、その森林面積の減少スピードは世界的に見ても非常に顕著です。背景には、世界的な牛肉需要の高まりに伴う放牧地の拡大や、飼料用・バイオ燃料用としての州内での大豆生産（穀物生産）の増加があります。このように、農業開発と環境保護の両立が大きな課題となっています。

南アメリカ・オセアニア 州プリント

名前

- 問1 世界を地理的なまとまりによって六つの州に区分したとき、アフリカ、ヨーロッパ、アジア、北アメリカ、南アメリカと並び、オーストラリア大陸とその周辺の太平洋の島々を含めて構成される州の名称を答えなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 1. アジア州 | 2. オセアニア州 | 3. アフリカ州 | 4. 南アメリカ州 |
|---------|-----------|----------|-----------|
- 問2 南アメリカのアンデス山脈において、標高3000mを超える高地で行われている主な土地利用の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1. 天然ゴムの採取と、焼畑によるトウモロコシ栽培 | 2. 稲作と、輸出用としての茶の栽培 | 3. サトウキビの大規模な栽培と、牛の放牧 | 4. リヤマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培 |
|---------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|
- 問3 南アメリカやアフリカの発展途上国に見られる、特定の農産物や鉱産資源といった「一次産品」の輸出に、国の経済が過度に依存している状態を何と呼びますか。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|------------|---------|------------|
| 1. モノカルチャー経済 | 2. 持続可能な開発 | 3. 加工貿易 | 4. フェアトレード |
|--------------|------------|---------|------------|
- 問4 ブラジルの首都ブラジリアについて、その建設の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 内陸部の開発を目的として計画的に建設され、近代的な都市景観が世界遺産に登録されている。 | 2. 植民地時代から続く歴史的な港町であり、コーヒーの輸出拠点として発展した旧首都である。 | 3. アマゾン川の河口付近に位置し、熱帯雨林の保護と観光の拠点として建設された都市である。 | 4. ブラジル最大の人口を抱える経済の中心地であり、多くの日系人が居住している都市である。 |
|--|---|---|---|
- 問5 南アメリカに位置するペルーとボリビアの貿易構造について、2012年の統計データを踏まえた説明として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2016年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. ペルーとボリビアは、ともに輸出総額の半分以上をコーヒーや大豆などの農産物が占めている。 | 2. ペルーの輸出第1位の品目は原油であり、ボリビアは銀鉱が輸出の約5割を占めている。 | 3. ペルーとボリビアは、ともに工業製品の輸出額が鉱産資源の輸出額を大きく上回っている。 | 4. ペルーの輸出第1位の品目は金であり、ボリビアの輸出第1位の品目は天然ガスである。 |
|--|---|--|---|
- 問6 主要国の総発電量内訳を示したデータにおいて、ブラジルは水力発電の割合が全体の約6割から7割を占めており、火力発電や原子力発電に依存する日本やアメリカと比較して非常に高い水準にあります。ブラジルでこのように水力発電が盛んな理由として、最も適切な背景はどれですか。（2023年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 国土の大部分が平坦な低地であるため、流れの緩やかな河川を利用した潮流発電が全国的に普及しているため | 2. 化石燃料の埋蔵量が世界最小であるため、国策として火力発電所の建設が法律で禁止されているため | 3. アンデス山脈から流れ出る急流を利用するため、隣国であるチリやペルーから電力を全量輸入しているため | 4. アマゾン川に代表される豊かな水資源に加え、高低差のある地形を活かした大規模なダム建設が行われてきたため |
|--|--|---|--|
- 問7 世界の農産物生産に関する統計資料において、生産量第1位がブラジル、第2位がインド、第3位が中国となっており、主に熱帯や亜熱帯の地域で栽培されている農作物はどれですか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|------|----------|-----------|
| 1. 小麦 | 2. 茶 | 3. さとうきび | 4. とうもろこし |
|-------|------|----------|-----------|
- 問8 オーストラリアへの移民の出身地域に関する変化について、1940年代から1970年代前半までの状況と比較して、1970年代後半以降に顕著に見られるようになった特徴として正しいものはどれか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|------------------------------------|---|--|
| 1. アフリカ諸国からの労働力としての移民が、全移民の半数を超えるようになった。 | 2. アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。 | 3. 北アメリカや南アメリカからの移民が、ヨーロッパからの移民の数を上回った。 | 4. イギリスやアイルランドなどのヨーロッパ出身の移民がさらに高い割合を占めるようになった。 |
|--|------------------------------------|---|--|
- 問9 南アメリカ大陸の地形と農業について述べた次の文のうち、アルゼンチンに広がる平原「パンパ」の特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 乾燥した気候の草原地帯で、かつては大規模な綿花栽培が行われていた北アメリカ中央部の地域である。 | 2. 熱帯雨林が広がる広大な低地で、世界最大の流域面積を持つ河川が流れている。 | 3. 標高の高い高原地帯で、古くからジャガイモの原産地として知られ、アンデス山脈に隣接している。 | 4. 温帯に属する広大な草原で、肥沃な土壌を活かして小麦栽培や肉牛の飼育が行われている。 |
|--|---|--|--|
- 問10 ブラジルの農業の現状と特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. アマゾン川流域の熱帯雨林において、現在も天然ゴムの採取が国家の輸出額の大部分を占めている。 | 2. 肉牛の肥育効率を高めるため、フィードロットと呼ばれる施設に牛を集めて穀物を与える方式が主流である。 | 3. 広大な土地と大型機械を利用した大豆などの生産が盛んで、世界有数の輸出大国となっている。 | 4. 西アフリカ諸国と同様にカカオの栽培を主軸としており、小規模な農家による手作業が中心である。 |
|--|--|--|--|
- 問11 オーストラリアでは、かつてヨーロッパ系以外の移民を厳しく制限し、白人中心の社会を維持しようとする政策がとられていました。しかし、1970年代にこの政策が廃止されると、アジアなど世界各地からの移民を受け入れ、互いの文化の違いを認め合う社会を目指すようになりました。この、かつて行われていた白人優先の移民制限政策を何といいますか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|---------|------------|
| 1. 人種隔離政策 | 2. 白豪主義 | 3. 保護貿易 | 4. アパルトヘイト |
|-----------|---------|---------|------------|
- 問12 ニュージーランドの地形の特徴と日本との貿易関係について説明した文として、適切なものはどれですか。なお、日本におけるニュージーランドからの果実の輸入額は、1999年の約154億円から2019年には約459億円へと約3倍に増加しています。（2021年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 安定陸塊に位置するため大規模な地殻変動がなく、南島の海岸部には広大な砂州が見られ、日本へはブドウなどのワイン用果実の輸入額が1990年代から半減している。 | 2. 安定陸塊に位置するため平坦な土地が広がり、南島の海岸部にはサンゴ礁が発達しており、日本へはオレンジなどの柑橘類の輸出が急激に減少している。 | 3. 環太平洋造山帯に位置するため険しい山地が多く、南島の海岸部には氷河に削られた複雑な地形であるフィヨルドが見られ、日本へはキウイフルーツなどの果実の輸出が増えている。 | 4. 環太平洋造山帯に位置するため火山活動が活発で、北島の海岸部には土砂が堆積してできたリアス海岸が広がり、日本へはバナナなどの熱帯果実の輸出が中心となっている。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 オセアニア州	世界の地域区分は、大きな大陸や文化的なまとまりに基づいて六つに分けられます。このうち、オーストラリア大陸、ニュージーランド、および太平洋に点在するミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの島々を総称してオセアニア州と呼びます。六つの州の中で、最も陸地面積が小さいのが特徴です。
問2	答え 4 リヤマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培	アンデス高地は標高が高いために気温が低く、寒冷な気候条件となっています。このような環境に適応するため、高地では寒さに強い家畜であるリヤマやアルパカの放牧が行われ、食料としては低温でも育つじゃがいもが主に栽培されています。サトウキビや天然ゴムは低地の熱帯気候に適した作物であるため、高地での栽培には適しません。
問3	答え 1 モノカルチャー経済	特定の農産物（コーヒーやバナナなど）や鉱産資源（鉄鉱石や銅など）の輸出に頼る経済構造を指します。19世紀から20世紀にかけての植民地支配の影響で、本国に有利な産品を集中して生産させられた歴史的背景があります。現在では、輸出額の大部分を少数の品目が占める状況を改善するため、産業の多角化が課題となっています。
問4	答え 1 内陸部の開発を目的として計画的に建設され、近代的な都市景観が世界遺産に登録されている。	ブラジル政府は、沿岸部と内陸部の格差を是正するために、未開発だった内陸の高地にブラジリアを建設しました。この都市はルシオ・コスタの都市計画とオスカー・ニーマイヤーの建築によってデザインされ、1987年に世界遺産（文化遺産）となりました。リオデジャネイロは1960年までの旧首都、サンパウロは南米最大の経済都市という特徴があります。
問5	答え 4 ペルーの輸出第1位の品目は金であり、ボリビアの輸出第1位の品目は天然ガスである。	南アメリカのアンデス山脈周辺の国々は、豊かな鉱産資源の輸出に頼る傾向があります。2012年の統計において、ペルーでは金が輸出全体の約21%を占めて第1位となっており、次いで銅鉱などの輸出が盛んです。一方、ボリビアでは天然ガスが輸出全体の約46%を占めており、経済の大きな柱となっています。農産物や工業製品ではなく、鉱産資源やエネルギー資源が輸出の中心となっているのがこの地域の特徴です。
問6	答え 4 アマゾン川に代表される豊かな水資源に加え、高低差のある地形を活かした大規模なダム建設が行われてきたため	ブラジルは世界最大級の流域面積を持つアマゾン川やパラナ川などの大河川に恵まれており、さらにブラジル高原のような起伏のある地形が存在するため、水力発電に適しています。イタイプダムなどの巨大な発電施設を建設・運用することで、国内電力の大部分を再生可能エネルギーである水力で賄う構造が作られました。これに対し、日本やアメリカは化石燃料による火力発電の比率が高いという違いがあります。
問7	答え 3 さとうきび	さとうきびは高温多湿な熱帯や亜熱帯の気候に適した作物です。統計ではブラジルが世界最大の生産国であり、インドやタイ、パキスタンといったアジア諸国も上位に名を連ねています。同じくブラジルで生産が盛んなコーヒーと混同しやすいですが、アジア諸国が上位に並ぶ点がさとうきびの特徴です。
問8	答え 2 アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。	オーストラリアでは、第二次世界大戦後から1970年代前半にかけてはイギリスやアイルランドなどヨーロッパ出身の移民が圧倒的多数を占めていました。しかし、1970年代後半以降はそれまでの白人優先の政策（白豪主義）から、多様な文化を認める「多文化主義」へと方針を転換したため、地理的に近いアジアや東南アジア、近隣のオセアニアからの移民が急増しました。
問9	答え 4 温帯に属する広大な草原で、肥沃な土壌を活かして小麦栽培や肉牛の飼育が行われている。	パンパはアルゼンチン南東部に位置する広大な温帯平原です。降水量が適度で土壌が肥沃であるため、アルゼンチンは牛肉や小麦の世界的な輸出拠点となっています。選択肢にある「熱帯雨林の低地」はアマゾン盆地のセルバを、「標高の高い高原」はアンデス山脈やブラジル高原などを指すため、パンパの説明としては不適切です。
問10	答え 3 広大な土地と大型機械を利用した大豆などの生産が盛んで、世界有数の輸出大国となっている。	ブラジルは広大な国土と平坦な地形を活かし、内陸部の開発を通じて大規模な機械化農業を確立しました。これにより、大豆やトウモロコシ、牛肉などの世界的な供給源となっています。フィードロットは主にアメリカ合衆国やオーストラリアで見られる手法であり、天然ゴムは歴史的には重要でしたが現在は東南アジアが主産地です。また、カカオの主産地はコートジボワールなどのギニア湾沿岸地域です。
問11	答え 2 白豪主義	オーストラリアは1901年の連邦成立以来、白人以外の移民を制限する「白豪主義」を国是としていました。しかし、第二次世界大戦後の労働力不足や、地理的に近いアジア諸国との経済的な関係を重視する必要性が高まったことから、1970年代にこの政策は完全に廃止されました。アパルトヘイトは南アフリカ共和国で行われていた人種隔離政策であり、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 3 環太平洋造山帯に位置するため険しい山地が多く、南島の海岸部には氷河に削られた複雑な地形であるフィヨルドが見られ、日本へはキウイフルーツなどの果実の輸出が増えている。	ニュージーランドは日本と同じく環太平洋造山帯に属しており、山がちで急峻な地形が特徴です。特に南島の南西部には、かつて氷河によって削られたU字谷に海水が入り込んで形成された「フィヨルド」と呼ばれる美しい景観が広がっています。また、日本との貿易では季節が逆であることを活かした農産物の輸出が盛んで、統計からもわかる通り、キウイフルーツをはじめとした果実の輸出額がこの20年で大きく伸びています。

名前

1. 経済特区 2. 持続可能な開発目標 3. 自由貿易協定 4. ブロック経済

1. 乾燥帯を流れる外来河川であり、灌漑農業によって綿花の栽培が盛んに行われている。

2. 季節によって流量の変化が激しく、冬には広範囲で河川が凍結する。

3. 河口付近に巨大なデルタ（三角洲）が形成されており、古くから古代文明が発展した。

4. 赤道付近に位置し、多量の降水があるため、世界最大の流域面積を有している。

1. 北米のサンベルトから多くの工場が移転してきたことにより、大規模な工業用地の整備が必要となったため	2. 先端技術産業を誘致するために、アマゾン流域の全域を工業専用の経済特区に指定したため	3. 人口の急増に伴い、食料を確保するための伝統的な遊牧の範囲が森林の奥深くまで拡大したため	4. 経済発展を目的とした道路建設や、牛の放牧地・農地を拡大するための開発が進められたため
---	--	--	---

1. イギリスからの経済援助を受けるための条件として、国旗に意匠を残すことが義務付けられているため

2. かつてイギリスの植民地であり、独立後もイギリス連邦の一員として歴史的なつながりを維持しているため

3. 第二次世界大戦においてイギリスと同盟を結び、その勝利を記念して意匠を統一したため

4. イギリスを文化的な理想国家として掲げ、19世紀後半に国民投票によってこのデザインが採択されたため

1. 肥沃な平原であるパンパにおいて、資本を投入した大規模な経営による牧畜や穀物生産が行われている。
2. アマゾン川流域の熱帯雨林を切り開き、輸出用のサトウキビを栽培するモノカルチャー経済が主流である。
3. 沿岸部の乾燥地帯において、わずかな降水を利用した小規模な羊の放牧と果樹栽培が行われている。
4. アンデス山脈の厳しい自然環境に対応するため、ジャガイモやトウモロコシの自給的な栽培が中心となっている。

1. オーストラリアの面積は日本の約20倍と非常に広大であり、南半球に位置するため日本とは季節が逆になる。
2. オーストラリアは日本と同じく北半球の中緯度帯に位置しており、面積は北海道と同じ程度である。
3. オーストラリアはイギリスとほぼ同等の面積を持ち、気候や先住民政策においてもイギリスと共通した特徴を持っている。
4. オーストラリアは国土の大部分が北極圏に含まれているため、アボリジニなどの先住民は寒さに適応した生活を送っている。

1. 東南アジア諸国連合（ASEAN）との貿易が中心となり、米や茶などの食料品の輸出が拡大している。
2. アメリカ合衆国が最大の輸出相手国となり、自動車や電子部品などの工業製品の輸出を急激に伸ばしている。
3. 日本が最大の輸出相手国となり、現在もかつてと同様に羊毛や小麦などの農産物を中心に輸出している。
4. 中国が最大の輸出相手国となり、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出額の多くを占めるようになっている。

1. 標高が高くなるほど気温が上がる性質を利用して、山頂に近いほど熱帯由来の作物が栽培されている。	2. 北アメリカのロッキー山脈と同じように、ふもとから山頂付近まで貫して広大な小麦畑が広がっている	3. 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリヤマやアルパカの放牧が行われている。	4. 標高3,000メートルを超える寒冷な地域では、トウモロコシの栽培が最も盛んに行われている。
---	---	---	--

1. アマゾン川流域の気候は大規模農業に適さないため、現在は森林の保護と植林が急速に進んでいる。
2. 現地の住民が食べるための米や芋を育てる自給用農業の拡大が、森林減少の最大の原因である。
3. 世界的な食料需要の高まりを受け、輸出用の大豆を栽培するための大規模な森林伐採が行われている。
4. 標高の高い地域に適したコーヒーの農園を拡大するため、低地の熱帯雨林が広範囲に伐採されている。

1. イヌイット 2. インディオ 3. マオリ 4. アボリジニ

1. 大陸の最南端付近は南緯50度程度の高緯度に位置しており、北半球のアメリカ・カナダ国境付近と同程度の緯度まで陸地が広がっている。
2. 大陸の最南端付近は赤道に極めて近いため、年間を通じて高温多湿な熱帯雨林気候が広がっている。
3. 大陸の最南端付近は南緯20度程度であり、熱帯低気圧の影響を強く受ける低緯度地域に含まれる。
4. 大陸の最南端を通過する緯線は、オーストラリア大陸の中央部を通過する南回帰線と同じ緯度である。

1. 液化天然ガス・羊毛・肉類 2. 原油・鉄鉱石・銅鉱 3. 石炭・原油・小麦 4. 石炭・液化天然ガス・鉄鉱石

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ブロック経済	1929年に発生した世界恐慌への対策として、広大な植民地を持つイギリスやフランスなどは、自国と植民地の間で関税を低く抑え、他国の製品を排除する経済圏（ブロック経済）を形成しました。当時、オーストラリアはイギリスの自治領としてこの体制に組み込まれており、イギリスとの政治・経済的な主従関係が非常に強い時期でした。
問2	答え 4 赤道付近に位置し、多量の降水があるため、世界最大の流域面積を有している。	アマゾン川は赤道直下の熱帯雨林気候区を流れており、年間を通じて極めて多い降水量があるため、支流を含めた水の集まる範囲（流域面積）が世界で最も広がっています。乾燥帯を流れる外来河川や古代文明の記述はナイル川などの特徴であり、凍結は高緯度地域の河川に見られる特徴です。
問3	答え 4 経済発展を目的とした道路建設や、牛の放牧地・農地を拡大するための開発が進められたため	ブラジルでは、広大な国土を活用して経済を成長させるため、1970年代以降アマゾン横断道路などの幹線道路の建設が推し進められました。これにより森林の奥深くへのアクセスが可能となり、大規模な木材の伐採や、輸出用の牛肉を生産するための牧場、大豆などを栽培する農地の造成が急速に進行しました。その結果、貴重な生態系を持つ熱帯林が失われ、地球温暖化への影響も懸念されています。
問4	答え 2 かつてイギリスの植民地であり、独立後もイギリス連邦の一員として歴史的なつながりを維持しているため	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であり、1901年に独立してからもイギリスを君主とする「イギリス連邦（コモンウェルス）」の一員としての地位を保っています。国旗に描かれたユニオンジャックは、宗主国であったイギリスとの深い結びつきを象徴しており、現在も国家のアイデンティティの一部となっています。このように、かつての宗主国の旗を自国の国旗の一部に取り入れている国は、ニュージーランドやフィジーなどオセアニアの他の国々にも見られます。
問5	答え 1 肥沃な平原であるパンパにおいて、資本を投入した大規模な経営による牧畜や穀物生産が行われている。	アルゼンチンの農業は、広大な平原「パンパ」を舞台とした企業の農業が特徴です。かつては牧畜が中心でしたが、冷凍船の普及や世界の需要の変化に伴い、小麦や大豆などの穀物生産も拡大しました。これらは家族経営のような小規模なものではなく、広大な土地に資本を投じた大規模な形態で行われており、世界有数の農畜産物輸出地域となっています。
問6	答え 1 オーストラリアの面積は日本の約20倍と非常に広大であり、南半球に位置するため日本とは季節が逆になる。	オーストラリアは日本の約20倍の広大な面積を持つ国です。南半球に位置しているため、北半球にある日本とは季節が正反対になります。また、先住民はアボリジニであり、寒冷な北極圏ではなく、乾燥帯や温帯が広がる地域に位置しています。イギリスの面積は日本よりやや小さいため、面積の比較においても誤りを含まないこの選択肢が正解となります。
問7	答え 4 中国が最大の輸出相手国となり、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出額の多くを占めるようになっている。	オーストラリアは、歴史的に関係の深かったイギリスとの貿易から、地理的に近く経済成長の著しいアジア諸国との貿易へとシフトしました。特に中国が最大の貿易相手国となっており、品目もかつての羊毛や小麦といった農産物から、中国の工業化を支える鉄鉱石や石炭といった鉱産資源へと主力商品が移り変わっています。この背景には、アジア諸国におけるエネルギー需要や鉄鋼生産の拡大があります。
問8	答え 3 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリャマやアルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈では、標高が上がるにつれて気温が下がる気候特性に合わせた「高度別農業」が行われています。標高3,000メートル以上の高冷地ではジャガイモが栽培され、さらに厳しい環境となる4,000メートル以上の地域では、家畜であるリャマやアルパカの放牧に頼る生活様式が見られます。ロッキー山脈は北アメリカに位置する山脈であり、アンデスの特徴とは異なります。
問9	答え 3 世界的な食料需要の高まりを受け、輸出用の大豆を栽培するための大規模な森林伐採が行われている。	アマゾン川流域における森林破壊は、単なる地元の食料確保ではなく、国際市場に向けた輸出用作物の栽培や、肉牛の放牧地の確保といった経済的な理由が背景にあります。特に大豆は、家畜の飼料などとして中国やヨーロッパなどに大量に輸出されており、経済発展と環境保護の両立が大きな国際的課題となっています。
問10	答え 4 アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民はアボリジニである。選択肢のマオリはニュージーランドの先住民であり、地理的に近い混同しやすいが明確に区別する必要がある。なお、インディオは中南米、イヌイットは北極海沿岸などの寒冷地域に住む人々を指す。
問11	答え 1 大陸の最南端付近は南緯50度程度の高緯度に位置しており、北半球のアメリカ・カナダ国境付近と同程度の緯度まで陸地が広がっている。	南アメリカ大陸は南北に非常に長く、大陸北部に赤道が通る一方で、南端は南緯50度付近という高緯度に達します。北半球においてこれに近い緯度（北緯49度）はアメリカ合衆国とカナダの国境線にあたり、南半球の陸地が北半球の主要な国々に匹敵する高い緯度まで存在していることが地理的な特徴となっています。
問12	答え 4 石炭・液化天然ガス・鉄鉱石	オーストラリアは広大な国土に豊富な鉱物資源を有しており、日本にとって最大の資源供給国の一つです。2016年の統計では、発電や製鉄の原料となる石炭が第1位、次いで火力発電の燃料となる液化天然ガス（LNG）が第2位、鉄鋼業に欠かせない鉄鉱石が第3位となっており、これら上位3品目だけで日本のエネルギーや重工業を支える重要な役割を果たしています。

問1 南アメリカ大陸の都市マナオスの気候統計によると、月平均気温は年間を通じて約27～28度とほぼ一定で、降水量は1月から4月にかけて毎月200mmを超えています。最も雨が少ない8月頃でも50mm以上の降水があるこの都市が属する気候区として正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 地中海性気候
2. 熱帯雨林気候
3. サバナ気候
4. 温暖湿潤気候

問2 オーストラリアでは茶の生産はあまり行われていませんが、日常生活の中で紅茶を好んで飲む文化が広く定着しています。このように、オーストラリアの食文化に大きな影響を与え、かつてこの地を植民地として支配していた国はどこですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

1. フランス
2. オランダ
3. アメリカ合衆国
4. イギリス

問3 1965年から2015年にかけてのオーストラリアの輸出統計では、輸出総額が約30億ドルから約1880億ドルへと大幅に増加しました。この期間における輸出品目の構成の変化について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 輸出総額が拡大する中で、羊毛や小麦などの農産物中心の構成から、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源中心の構成へと変化した。
2. 輸出総額は大幅に増加したが、石炭の需要が世界的に低迷したため、鉱産資源の輸出割合は1965年よりも低下した。
3. 輸出総額は大幅に増加したが、輸出全体に占める羊毛の割合は一貫して最も高い数値を維持している。
4. 輸出総額が拡大する中で、鉄鉱石などの鉱産資源中心の構成から、羊毛や小麦などの農産物中心の構成へと変化した。

問4 オーストラリアの貿易相手国の変遷をまとめた統計によると、1960年代には主要な相手国であったイギリスの割合が大きく減少する一方で、近年では日本や中国などのアジア諸国の割合が極めて高くなっています。このようなオーストラリアの国際関係の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. ヨーロッパ諸国との貿易を維持するため、アジア諸国からの農産物の輸入を厳しく制限している。
2. かつての宗主国であるイギリスとの経済的な結びつきをより強める方針に転換した。
3. 自国の工業製品を輸出することを目的として、欧米諸国とのみ自由貿易協定を結んでいる。
4. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきや人的交流を重視する姿勢を強めている。

問5 ニュージーランドでは、ラグビーのナショナルチームが試合前に先住民の伝統的な踊りである「ハカ」を披露することが恒例となっています。このような取り組みが行われている背景にある、ニュージーランドの社会的な姿勢や多文化共生のあり方として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 栃木県公立入試 類似)

1. イギリスからの移民が持ち込んだラグビーを、先住民の文化を完全に排除して発展させるための比較対象としている。
2. 隣国であるオーストラリアの先住民の文化を、スポーツを盛り上げるための演出として試験的に導入している。
3. 先住民であるマオリの伝統文化を尊重し、国の誇りやアイデンティティの一部として広く社会に取り入れている。
4. 古代エジプト文明から伝わったとされる儀式を、スポーツの勝利を願うための独自の宗教儀礼へと作り替えた。

問6 南アメリカのアンデス山脈において、標高3000mを超える高地で行われている主な土地利用の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)

1. 天然ゴムの採取と、焼畑によるトウモロコシ栽培
2. 稲作と、輸出用としての茶の栽培
3. サトウキビの大規模な栽培と、牛の放牧
4. リャマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培

問7 南アメリカ大陸で最大の面積を持ち、世界全体の約6.3%にあたる約852万km2の国土を有する国について、その資源や産業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)

1. 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。
2. 世界最大の国土面積を持ち、原油や天然ガスなどのエネルギー資源の輸出が経済の大きな柱となっている。
3. 広大な乾燥帯の土地を活用した羊毛の生産が盛んであり、鉄鉱石や石炭の産出量は多いがオセアニアに位置する。
4. 広大な国土面積を持ちながら、鉄鉱石の産出とともに近年はIT産業の発展が著しい南アジアの国である。

問8 ニュージーランドのウェリントンは南半球に位置し、西岸海洋性気候に属しています。この都市の雨温図に見られる気温と降水量の特徴として、正しい記述はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

1. 年間を通して気温の変化が小さく、降水量は一年中非常に少ない
2. 1月頃に気温が低くなり、冬にあたる時期に降水量が多くなる
3. 1月頃に気温が高くなり、年間を通して安定した降水が見られる
4. 7月頃に気温が高くなり、夏にあたる時期に乾燥する

問9 南アメリカ大陸は、赤道に近い北部から中部にかけては熱帯が広く分布していますが、アルゼンチンなどの南部に見られる、比較的温暖で四季の変化がはっきりと見られる気候帯を何と呼ぶか、答えなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. 寒帯
2. 乾燥帯
3. 温帯
4. 熱帯

問10 ボリビアのウユニ塩湖などで採取される「リチウム」が、現代社会においてその重要性を増している理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. プラスチック製品の原料として石油に代わる安価な代替素材として、化学工業の分野で広く活用されるようになったため。
2. 鉄鉱石を精錬して鋼鉄を作る際に、石炭の代わりとなる燃料として利用されることが一般的になったため。
3. 情報通信技術の発展に伴い、光ファイバーのケーブルを製造するための主原料として大量に消費されるようになったため。
4. 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。

問11 オーストラリアにおいて、1970年代にそれまでの白人優先の移民政策が廃止され、多文化社会へと舵を切った背景を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)

1. 先住民であるマオリによる激しい権利拡大運動が起こり、白人だけの政治体制を維持することが国際的に困難になったため。
2. イギリスを中心としたヨーロッパ諸国からの移民が急増したことで、国内の白人比率が過剰になり、人口バランスを調整する必要が生じたため。
3. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきが強まり、貿易や労働力の面でアジアからの移民を受け入れる必要性が高まったため。
4. 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟するために、加盟条件である「人種差別の撤廃」と「公用語の多様化」を受け入れる必要があったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 熱帯雨林気候	マナオスは赤道付近に位置しており、データに見られる「年間を通して高温」「明確な乾季がなく、年中降水がある」という特徴は、熱帯雨林気候の典型的な性質です。サバナ気候も熱帯に属しますが、こちらは雨季と乾季が非常にはっきりと分かれるという違いがあります。
問2	答え 4 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となった歴史があり、その過程で多くのイギリス系移民が移り住みました。そのため、言語（英語）や政治制度だけでなく、紅茶を飲む習慣やスポーツ（クリケットなど）といった生活文化の面でも、宗主国であるイギリスの影響を強く受けています。
問3	答え 1 輸出総額が拡大する中で、羊毛や小麦などの農産物中心の構成から、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源中心の構成へと変化した。	1965年時点では、輸出総額に占める割合は羊毛が29.3%、小麦が12.7%と農産物が上位を占めていました。しかし、2015年には鉄鉱石が19.6%、石炭が15.2%となり、鉱産資源が主要な輸出品目となっています。この50年間で、オーストラリアの経済構造は農産物依存から、豊富な地下資源を活用した鉱産資源依存へと大きくシフトしました。
問4	答え 4 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきや人的交流を重視する姿勢を強めている。	オーストラリアはかつてイギリスとの関係を重視していましたが、1970年代以降、地理的に近いアジア諸国との関係を深めてきました。現在では中国や日本が最大の貿易相手国となっており、石炭や鉄鉱石などの鉱産資源を輸出する一方で、アジアから工業製品を輸入する補完的な関係が築かれています。
問5	答え 3 先住民であるマオリの伝統文化を尊重し、国の誇りやアイデンティティの一部として広く社会に取り入れている。	ニュージーランドでは、先住民マオリの権利や文化を尊重する政策が進められており、マオリ語を公用語の一つに指定するなど、多文化社会の構築を目指しています。ラグビーの代表チームがハカを踊ることは、マオリの伝統をニュージーランド国民共通の財産として尊重し、その精神を継承しようとする強い姿勢の表れです。
問6	答え 4 リャマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培	アンデス高地は標高が高いために気温が低く、寒冷な気候条件となっています。このような環境に適応するため、高地では寒さに強い家畜であるリャマやアルパカの放牧が行われ、食料としては低温でも育つじゃがいもが主に栽培されています。サトウキビや天然ゴムは低地の熱帯気候に適した作物であるため、高地での栽培には適しません。
問7	答え 1 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。	ブラジルは南アメリカ大陸で最大の面積を誇る国であり、その広大な国土には豊富な鉱物資源が眠っています。特に鉄鉱石の産出量は世界シェアの34.7%に達するなど、世界有数の供給源となっています。他の選択肢にあるロシア（世界最大の面積）、インド（南アジア）、オーストラリア（オセアニア）も広大な国土や資源を持ちますが、南アメリカ大陸という位置条件と鉄鉱石の圧倒的なシェアから、ブラジルの特徴と判断できます。
問8	答え 3 1月頃に気温が高くなり、年間を通して安定した降水が見られる	ニュージーランドは南半球に位置するため、北半球の日本とは季節が逆転し、1月頃が夏（気温が高い）、7月頃が冬（気温が低い）となります。また、西岸海洋性気候の特徴として、偏西風の影響により年間を通して降水量が安定しており、地中海性気候のように極端に乾燥する季節はありません。
問9	答え 3 温帯	南アメリカ大陸は低緯度（赤道付近）から高緯度まで南北に長く伸びているため、気候が多様です。アルゼンチンの周辺などの南部地域は中緯度に位置し、日本と同じように四季の変化がある温帯の気候が見られます。これは、アマゾン盆地などの熱帯地域とは対照的な特徴です。
問10	答え 4 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。	リチウムはリチウムイオン電池（二次電池）の主原料であり、近年のスマートフォンやノートパソコンの普及、さらには脱炭素社会に向けた電気自動車（EV）へのシフトによって、その希少価値と需要が世界的に急増しています。ボリビアは世界有数のリチウム埋蔵量を誇るため、銀などの伝統的な鉱物資源に代わる新たな国家経済の柱として期待されています。
問11	答え 3 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきが強まり、貿易や労働力の面でアジアからの移民を受け入れる必要性が高まったため。	オーストラリアが政策を転換した最大の理由は、経済構造の変化です。かつては宗主国であるイギリスとの貿易が中心でしたが、日本や中国、東南アジアなど、地理的に近いアジア諸国が主要な貿易相手国となったことで、それら諸国との友好関係や経済連携を深めるために、差別的な白豪主義を廃止し多文化社会へと移行する必要性がありました。なお、オーストラリアはASEANの加盟国ではありません。